

(様式第 10)

三大医病総第 882 号
平成 28 年 10 月 4 日

厚生労働大臣 塩 崎 恭 久 殿

国立大学法人三重大学
学長 駒 田 美 弘

三重大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、平成 27 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174
氏 名	国立大学法人三重大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

三重大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒514-8507 三重県津市江戸橋2丁目174	電話 (059) 232 - 1111
-----------------------------	-----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<p>① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜</p> <p>2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜</p>

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	① ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 消化器・肝臓内科 2 呼吸器内科 3 腎臓内科 4 血液内科 5 腫瘍内科 6 糖尿病・内分泌内科 7 神経内科 8 循環器内科 9 緩和ケア内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科 2 移植外科 3 呼吸器外科 4 乳腺外科 5 心臓血管外科 6 小児外科 7 形成外科	
診療実績 診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科口腔外科	
歯科の診療体制 歯科医師を有する。	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 病理診断科	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
30床	0床	0床	0床	655床	685床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	409人	37人	446人	看護補助者	80人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	16人	0人	16人	理学療法士	9人	臨床検査技師	61人
薬剤師	56人	0人	56人	作業療法士	3人	衛生検査技師	1人
保健師	1人	1人	2人	視能訓練士	7人	その他	0人
助産師	33人	3人	36人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	493人	117人	610人	臨床工学士	23人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	1人	5人	6人	栄養士	0人	その他の技術員	33人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯科技工士	2人	事務職員	229人
管理栄養士	6人	5人	11人	診療放射線技師	39人	その他の職員	34人

- (注) 1 報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成 28 年 10 月 1 日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	41 人	眼科専門医	8 人
外科専門医	57 人	耳鼻咽喉科専門医	7 人
精神科専門医	7 人	放射線科専門医	18 人
小児科専門医	16 人	脳神経外科専門医	15 人
皮膚科専門医	10 人	整形外科専門医	16 人
泌尿器科専門医	11 人	麻酔科専門医	5 人
産婦人科専門医	15 人	救急科専門医	15 人
		合 計	241 人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 1 位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (伊 藤 正 明) 任命年月日 平成 28 年 10 月 1 日

医療安全管理委員会委員としての業務

--

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	548.9人	11.5人	560.4人
1日当たり平均外来患者数	1200.8人	86.8人	1287.6人
1日当たり平均調剤数			655.8剤
必要医師数			128.7人
必要歯科医師数			5.8人
必要薬剤師数			19人
必要(准)看護師数			324人

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	心電計	人工呼吸装置	心細動除去装置
集中治療室	589.1m ²	鉄筋コンクリート	13床			(有)・無
			(有)・無			(有)・無
			(有)・無			(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	374 m ²	病床数	31床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床積	52.9 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	423 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 遠心機, 自動分析装置			
細菌検査室	147 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡, 遠心機, 安全キャビネット			
病理検査室	236 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡, 染色装置			
病理解剖室	32 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電動昇降式解剖台			
研究室	758 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 遺伝子解析装置, 液体クロマトグラフ, 自動洗浄機			
講義室	1382 m ²	鉄筋コンクリート	室数	16室	収容定員	1,070人
図書室	759 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2室	蔵書数	55,180冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年4月1日～平成28年3月31日	
紹介率	83.5 %	逆紹介率	55.7 %
算出根拠	A：紹介患者の数	13,776 人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,654 人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	695 人	
	D：初診の患者の数	17,332 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注) [経過措置適用]

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況 [経過措置適用]

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	5人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	83人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	0人
実物大臓器立体モデルによる手術支援	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療	0人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髓微小残存病変(MRD)量の測定	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法 上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	1人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	0人
コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法 コレステロール塞栓症	1人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法	1人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	腎がんに対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	副腎腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	肺がんに対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	73人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	骨腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極針をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍内に穿刺、留置し、ラジオ波を流すことで組織内の温度を上げ、腫瘍を壊死させる治療法である。			
医療技術名	骨悪性腫瘍に対する凍結療法	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 ラジオ波通電用手電極をCT画像ガイド下にて経皮的に腫瘍に穿刺し、腫瘍に対してラジオ波発生装置による凝固療法である。			
医療技術名	骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 有痛性骨病変に対して、経皮的骨形成術を行う。11Gの骨生検針を骨内に挿入し、骨セメントを注入する。本院での入院期間は約6日間と短期間である。			
医療技術名	舌下免疫療法	取扱患者数	0人
当該医療技術の概要 スギ花粉症の原因であるスギ花粉のエキスを食パンのかけらにたらし、舌の下に2～3分程度含むことにより、エキスを継続的に体内に入れて体を慣らし、アレルギー反応を減らす。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	56	ベーチェット病	62
2	筋萎縮性側索硬化症	27	57	特発性拡張型心筋症	56
3	脊髄性筋萎縮症	0	58	肥大型心筋症	10
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	7	60	再生不良性貧血	41
6	パーキンソン病	124	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	6	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	64
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トウス病	0	65	原発性免疫不全症候群	3
11	重症筋無力症	53	66	IgA腎症	10
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	9
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	58	68	黄色靱帯骨化症	7
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	15	69	後縦靱帯骨化症	60
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	1
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	16
17	多系統萎縮症	12	72	下垂体性ADH分泌異常症	12
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	46	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	0	74	下垂体性PRL分泌亢進症	6
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	3
21	ミトコンドリア病	1	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	42	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	13
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	35
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	21	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	66
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	5
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	26
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	20
34	神経線維腫症	20	89	リンパ管筋腫症	2
35	天疱瘡	32	90	網膜色素変性症	32
36	表皮水疱症	2	91	バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	10	92	特発性門脈圧亢進症	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	53
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	17	95	自己免疫性肝炎	3
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	182
42	結節性多発動脈炎	13	97	潰瘍性大腸炎	362
43	顕微鏡的多発血管炎	8	98	好酸球性消化管疾患	0
44	多発血管炎性肉芽腫症	3	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	7	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	9	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	152	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	87	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	126	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	25	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	5	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	0	109	非典型溶血性尿毒症症候群	3
55	再発性多発軟骨炎	0	110	ブラウ症候群	0

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	1
113	筋ジストロフィー	2	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	1
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	2	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

4 指定難病についての診療

疾患名		患者数		疾患名		患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症		0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症		0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病		0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症		0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症		0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症		0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症		0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱		0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群		0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群		0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群		0
222	一次性ネフローゼ症候群	2	270	慢性再発性多発性骨髄炎		0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎		0
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症		0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症		0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症		0
227	オスラー病	2	275	タナトフォリック骨異形成症		0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症		0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病		0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)		0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)		0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)		0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群		0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血		0
235	副甲状腺機能低下症	1	283	後天性赤芽球癆		0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血		0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血		0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血		0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群		0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII		0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群		0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症		0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸)		0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症		0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残		0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア		0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫		0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症		2
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群		0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膝炎		0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症		0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患		3
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー		0
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症		0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群		0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴		0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫		0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎		17

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算1
・歯科外来診療環境体制加算	・データ提出加算2
・歯科診療特別対応連携加算	・退院支援加算2・3
・特定機能病院入院基本料	・精神疾患診療体制加算1・2
・臨床研修病院入院診療加算	・救命救急入院料4
・救急医療管理加算	・特定集中治療室管理料1
・超急性期脳卒中加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・妊産婦緊急搬送入院加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・診療録管理体制加算1	・小児入院医療管理料2
・医師事務作業補助体制加算1	・
・急性期看護補助体制加算	・
・看護補助加算1	・
・看護職員夜間配置加算	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1・2	・
・緩和ケア診療加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・遺伝カウンセリング加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・がん患者指導管理料1～3	・植込型心電図検査
・外来緩和ケア管理料	・時間内歩行試験
・移植後患者指導管理料	・シャトルウォーキングテスト
・糖尿病透析予防指導管理料	・胎児心エコー法
・外来リハビリテーション診療科	・ヘッドアップティルト試験
・外来放射線照射診療科	・皮下連続式グルコース測定
・開放型病院共同指導料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・ハイリスク妊産婦共同管理料(I)	・補聴器適合検査
・がん治療連携計画策定料	・ロービジョン検査判断料
・認知症専門診断管理料	・コンタクトレンズ検査料1
・肝炎インターフェロン治療計画料	・内服・点滴誘発試験
・薬剤管理指導料	・センチネルリンパ節生検
・地域連携診療計画加算	・CT透視下気管支鏡検査加算
・診療情報提供料(I)検査・画像情報提供加算	・画像診断管理加算1・2
・診療提供情報料(I)電子的診療情報提供料	・ポジトロン断層撮影
・医療機器安全管理料1・2	・ポジトロン断層撮影・コンピュータ断層複合撮影
・歯科治療総合医療管理料	・CT撮影及びMRI撮影
・在宅血液透析指導管理料	・冠動脈CT撮影加算
・持続血糖測定器加算	・外傷全身CT加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・大腸CT撮影加算
・HPV核酸検出	・心臓MRI撮影加算
・HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・検体検査管理加算(I)(IV)	・外来化学療法加算1
・国際標準検査管理加算	・無菌製剤処理料

・歯科口腔リハビリテーション2	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・経皮的中心筋焼灼術
・廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)	・骨移植術(軟骨移植術を含む)(同種移植術(非生体)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	(同種骨移植術(特殊なものに限る)))
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・がん患者リハビリテーション料	・埋込型心電図記録計移植術
・認知療法・認知行動療法	・埋込型心電図記録計摘出術
・精神科ショート・ケア及びデイ・ケア(小規模なもの)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料	・埋込型除細動器移植術及び埋込型除細動器交換術
・医療保護入院等診療料	・両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術及び両室ペーシング
・エタノールの局所注入(甲状腺・副甲状腺)	機能付埋込型除細動器交換術
・透析液水質確保加算	・大動脈バルーンパンピング法
・一酸化窒素吸入療法	・補助人工心臓
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・経皮的動脈遮断術
・歯科技工加算	・ダメージコントロール手術
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算)	・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うもの)
・脳刺激装置植込術、頭蓋内電極植込術及び脳刺激装置交換術	・腹腔鏡下肝切除術
・羊膜移植術	・腹腔鏡下肝切除術(亜区域切除、1区域切除(外側区域切除を除く)、
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	2区域切除及び3区域切除以上のもの)
・網膜移植術	・生体部分肝移植術
・乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除(腋窩郭清を伴わないもの)	・同種死体肝移植術
及び乳頭乳輪切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1・2	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・人工乳房及び組織拡張器	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・人工内耳埋込術	・腹腔鏡下小切開腎部分切除術
・植込骨導補聴器の植え込み及び接合子付骨導端子又は骨導端子の交換	・腹腔鏡下小切開腎摘出術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ(拡大副鼻腔手術)	・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・上顎・下顎骨形成術(歯科診療に係るものに限る)	・同種死体腎移植術

・生体腎移植術	・
・膀胱水圧拡張術	・
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・
・人工尿道括約筋植込・置換術	・
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器加算を用いるもの)	・
・腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術	・
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍術(子宮体がんに限る)	・
・胎児胸腔・羊水シヤント術	・
・輸血管理料(Ⅱ)	・
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・
・自己生体組織接着剤作成術	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処理加算	・
・歯周組織再生誘導手術	・
・手術時歯根面レーザー応用加算	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料Ⅰ・Ⅱ	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・1回線量増加加算	・
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・直線加速器による定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸移動対策加算	・
・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製	・
・テレパソロジーによる術中迅速細胞診	・
・病理診断管理加算2	・
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・
・歯科矯正診断料	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下子宮体がん根治手術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1回／2ヶ月
剖 検 の 状 況	剖検症例数 13例 / 剖検率 4.6%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
先進的医療イノベーション人材養成事業（未来医療研究人材養成拠点形成事業）	竹村洋典	医学部	¥44,500,000	補 委 補 文部科学省
高度がん医療を先導する人材養成拠点の形成・がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	緒方正人	医学部	¥23,985,000	補 委 補 文部科学省
可食性色素の粘膜上皮表面への塗布と多光子レーザー顕微鏡を用いた超早期がんの診断・新療法の研究開発	溝口明	医学部	¥3,000,000	補 委 補 国立大学法人京都大学
主治医と産業医の連携に関する有効な手法の提案に関する研究	竹村洋典	医学部	¥3,300,000	補 委 補 厚生労働省
紀南地域における子育ての満足度の変遷	堀浩樹	医学部	¥500,000	補 委 補 紀南地域母子保健医療推進協議会
超早期診断技術開発	加藤稲子	医学部	¥380,557	補 委 補 公益財団法人科学技術交流財団
脳循環研究推進プロジェクト	矢田健一郎	医学部	¥14,000,000	補 委 補 社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院
ステント支援脳動脈瘤塞栓術の効果と安全性に関する多施設共同前向き観察研究（研究略称：ESSENCE）	阪井田博司	医学部	¥105,600	補 委 補 公益財団法人先端医療振興財団
脳卒中既往患者を対象とした厳格降圧療法の二次予防効果を検討する大規模臨床研究（略称RESPECT Study）	富本秀和	医学部	¥6,666	補 委 補 特定非営利活動法人RESPECT研究会
新しいヒトがん幹細胞移植ゼブラフィッシュの開発研究	田中利男	医学部	¥1,040,000	補 委 補 国立研究開発法人 科学技術振興機構
1) 抗がん剤及び放射線治療に伴う外見変化の非侵襲的な客観的評価法の開発（26-27年） 2) 日本人の皮膚に合致したスキンケアの確立：分子標的薬治療及び放射線治療に伴う皮膚障害に対する治療的介入2	水谷仁	医学部	¥420,000	補 委 補 国立研究開発法人国立がん研究センター
骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究	松峯昭彦	医学部	¥300,000	補 委 補 国立研究開発法人国立がん研究センター
TCR改変T細胞の臨床応用を通して考える基盤整備の必要性の検討	珠玖洋	医学部	¥500,000	補 委 補 国立研究開発法人国立がん研究センター
ナットウキナーゼによるランダム化プラセボ対照二重盲検試験、重症好酸球性副鼻腔炎における嗅覚障害の新しい治療法開発	小林正佳	医学部	¥650,000	補 委 補 国立大学法人福井大学
回復期および維持期病院における医療機能の評価法、および地域医療連携のための情報共有に関する研究	大西 丈二	医学部	¥240,000	補 委 補 一般社団法人HIMAP
グリア伝達物質遊離機構解析	岡田元宏	医学部	¥800,000	補 委 補 国立大学法人 東京医科歯科大学
電気生理学検査による機能解析	近藤峰生	医学部	¥900,000	補 委 補 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
地域支援事業の分析および実施支援事業	大西 丈二	医学部	¥240,000	補 委 補 紀北町
平成27年度三重県認知症サポート医フォローアップ研修事業	木田博隆	医学部	¥660,000	補 委 補 公益社団法人三重県医師会
志摩市困難事例等アドバイザー業務委託	大西 丈二	医学部	¥259,200	補 委 補 志摩市
平成27年度南伊勢町町民包括評価集計分析事業	大西 丈二	医学部	¥242,000	補 委 補 南伊勢町

小計 21

高齢化先進地域における地域包括ケアおよび高齢者の保健医療介護に関する研究	竹村洋典	医学部	¥12,000,000	補 委	南伊勢町
ゼブラフィッシュの神経分化を指標とする化学物質の発達神経毒性評価手法の開発	西村有平	医学部	¥4,200,000	補 委	一般社団法人日本化学工業協会
平成27年度先天性代謝異常等検査事業業務委託（先天性甲状腺機能低下症）	平山雅浩	医学部	¥10,216,800	補 委	三重県
平成27年度先天性代謝異常等検査事業業務委託（先天性副腎過形成症）	平山雅浩	医学部	¥10,216,800	補 委	三重県
名張市において望まれる地域医療に関する調査研究事業	竹村洋典	医学部	¥3,000,000	補 委	名張市
海馬神経回路形成における細胞接着分子と関連分子の機能と作用機構	溝口明	医学部	¥5,200,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
「効果的な複合免疫療法の確立」（T細胞養子免疫療法における投与T細胞と免疫効果の評価による治療戦略の構築）	池田裕明	医学部	¥19,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
同種移植後再発の成人T細胞白血病リンパ腫に対する次世代型レトロウイルスベクターによるT細胞レセプター遺伝子導入ドナーリンパ球輸注療法	池田裕明	医学部	¥58,250,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
滑膜肉腫に対する新設計がんペプチドワクチンと遺伝子改変T細胞療法から成る複合的がん免疫療法の研究開発	影山慎一	医学部	¥78,804,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
CHP/NY-ESO-1ポリペプチドがんワクチンの術後食道癌症例を対象とした多施設共同前期第II相臨床試験	珠玖洋	医学部	¥119,165,025	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ERATO 秋吉バイオナノトランスポータープロジェクト	珠玖洋	医学部	¥28,000,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
日本人における大脳白質病変の老年症候群に及ぼす作用と危険因子の解明に関する研究 血管性認知症（皮質下性）の病態解析と診断補助ツールの作成	富本秀和	医学部	¥1,260,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
結核菌抗原遺伝子組み込みパラインフルエンザ2型ウイルスの作製	野阪哲哉	医学部	¥4,900,000	補 委	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
女性アスリートの育成・支援プロジェクト「女性アスリートの戦略的強化に向けた調査研究」	池田智明	医学部	¥9,999,999	補 委	文部科学省
遺伝性脳小血管病CADASILのデータベース構築と運用	富本秀和	医学部	¥9,435,864	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ウイルス表面蛋白改変技術を用いた次世代Virosomeによる遺伝子組換え万能インフルエンザワクチンの研究開発	野阪哲哉	医学部	¥3,000,000	補 委	国立大学法人名古屋大学
病変組織に集積する放射性医薬品の開発	吉田利通	医学部	¥2,000,000	補 委	国立大学法人名古屋大学
次世代レトロウイルスベクターによる難治性造血器腫瘍に対するT細胞レセプター改変T細胞輸注療法	珠玖洋	医学部	¥23,000,000	補 委	国立大学法人名古屋大学
平成27年度生活習慣病予防重点プロジェクト特定健診受診率向上事業業務委託	伊藤正明	医学部	¥6,000,000	補 委	名張市
TCR遺伝子導入リンパ球の作製とそれを用いた細胞療法の開発	池田裕明	医学部	¥4,500,000	補 委	国立大学法人金沢大学
ゼブラフィッシュ脊損モデル評価系の最適化およびグリア細胞可視化体作製試験 一式	田中利男	医学部	¥15,660,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
認知症疾患医療センターの患者分析による連携機能の強化	富本秀和	医学部	¥2,800,000	補 委	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
平成27年度三重県健康住宅実証研究委託事業	今井奈妙	医学部	¥2,299,320	補 委	三重県

小計 23

ゼブラフィッシュの神経分化を指標とする化学物質の発達神経毒性評価手法の開発	西村有平	医学部	¥3,000,000	補 委	一般社団法人日本化学工業協会
南伊勢町体力等測定事業	大西 丈二	医学部	¥2,000,000	補 委	南伊勢町
妊婦診断開発と中央検査体制	池田 智明	医学部	¥1,755,000	補 委	国立大学法人東京大学
胎児頻脈性不整脈に対する経胎盤抗不整脈薬投与に関する研究	池田 智明	医学部	¥1,820,000	補 委	国立研究開発法人 国立 成育医療研究センター
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	松峯 昭彦	医学部	¥1,200,000	補 委	国立大学法人九州大学
地域在住高齢者の運動器疾患・介護度・筋力の関連	須藤啓広	医学部	¥1,200,000	補 委	国立大学法人東京大学
全国を対象とした抗菌薬使用動向調査システムの構築および感染対策防止加算	村木 優一	医学部附属病院	¥2,211,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の新規難治性病型に対する治療研究	山口素子	医学部附属病院	¥15,600,000	補 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
保存期慢性腎臓病患者を対象とした臨床研究ーダルベボエチン アルファ製剤低反応に関する検討ー (BRIGHTEN)	石川英二	医学部附属病院	¥75,600	補 委	公益財団法人 先端医療振興財団
平成26年度HIV感染者等保険福祉相談事業 (エイズ中核拠点病院相談事業)	大石晃嗣	医学部附属病院	¥800,000	補 委	公益財団法人 エイズ予防財団
冠動脈疾患患者に対するピタバスタチンによる積極的脂質低下療法または通常脂質低下療法のランダム化比較試験 [REAL-CAD]	土肥 薫	医学部附属病院	¥140,000	補 委	公益財団法人 パブリック ヘルスリサーチセンター
リンパ系腫瘍・多発性骨髄腫に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	山口素子	医学部附属病院	¥300,000	補 委	独立行政法人 国立がん研究センター
重症肺高血圧症モデルに対する治療標的遺伝子の検索	三谷義英	医学部附属病院	¥260,000	補 委	国立大学法人 千葉大学
小児がんの登録・中央診断の推進を基盤とする病態解明と先駆的診断法開発	出口隆生	医学部附属病院	¥2,700,000	補 委	国立成育医療研究センター 理事長 五十嵐隆
小児造血器腫瘍 (リンパ腫瘍) に対する標準治療確立のための研究【急性リンパ性白血病におけるフローサイトメトリー法による微小残存病変の診断の確立】	出口隆生	医学部附属病院	¥500,000	補 委	学校法人聖路加国際大学 理事長 福井 次矢
治験の実施に関する研究 [G-CSF] 急性脊髄損傷感傷に対する顆粒球コロニー刺激因子を用いたランダム化、プラセボ対照、二重盲検平行群間比較試験第Ⅲ相試験	明田浩司	医学部附属病院	¥800,000	補 委	公益社団法人日本医師会 治験促進センター
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験 (J-D0IT3)	矢野 裕	医学部附属病院	¥500,000	補 委	公益財団法人 日本糖尿病財団
小児再発急性リンパ性白血病の標準治療確立を目的としたICH-GCP準拠の国際共同臨床試験	豊田秀実	医学部附属病院	¥1,170,000	補 委	独立行政法人 国立病院 機構 名古屋医療センター
上皮性卵巣癌・卵管癌・腹膜原発癌に対するPaclitaxel毎週点滴静注+Carboplatin 3週毎点滴静注投与対Paclitaxel毎週点滴静注+Carboplatin 3週毎腹腔内投与のランダム化第Ⅱ/Ⅲ相試験	田畑務	医学部附属病院	¥100,000	補 委	学校法人埼玉医科大学 学長 別所 正美
リンパ浮腫に対する早期治療機器の実用化開発	小川朋子	医学部附属病院	¥4,000,000	補 委	国立大学法人 名古屋大学医学部附属病院
小児AMLに対するフローサイトメトリー法を用いた微小残存病変 (MRD) 測定法の確立	岩本彰太郎	医学部附属病院	¥2,000,000	補 委	国立大学法人 京都大学
軽度認知障害患者に対するシロスタゾール療法の臨床効果並びに安全性に関する医師主導治験	佐藤正之	医学部附属病院	¥421,200	補 委	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
International Study for treatment of Standard Risk Childhood Relapsed ALL 2010(IntReALL SR 第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第Ⅲ相国際共同臨床研究	豊田秀実	医学部附属病院	¥108,000	補 委	独立行政法人 国立病院 機構 名古屋医療センター

小計 23

厚生労働化学研究費補助金 医薬品医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業「C型肝炎救済のための調査研究及び安全対策等に関する研究」C型肝炎患者の感染経路に関するアンケート調査	長谷川浩司	医学部附属病院	¥175,000	補 委 補	独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター
平成27年度三重県地域医療支援センターキャリア形成支援事業委託	岡本隆二	医学部附属病院	¥40,100,000	補 委 補	三重県
三重県周産期医療ネットワークシステム運営研究事業（妊産婦）委託	池田智明	医学部附属病院	¥5,790,000	補 委 補	三重県
平成27年度がん医療水準的てん化の推進に向けた看護職員資質向上対策事業		医学部附属病院	¥2,133,800	補 委 補	三重県
平成27年度がん検診受診促進・精度管理事業	竹田 寛	医学部附属病院	¥5,650,315	補 委 補	三重県
平成27年度三重県がん登録情報活用事業		医学部附属病院	¥21,500,000	補 委 補	三重県
平成27年度糖尿病に関する地域連携強化及び認知度向上事業		医学部附属病院	¥1,523,080	補 委 補	三重県
平成27年度基幹型認知症疾患医療センター運営事業委託		医学部附属病院	¥8,074,000	補 委 補	三重県
平成27年度生活習慣病予防重点プロジェクトがん検診受診率向上事業	竹田 寛	医学部附属病院	¥800,000	補 委 補	名張市
エイズ治療拠点病院等に対する研修・啓発及び医療情報提供等業務	大石晃嗣	医学部附属病院	¥800,000	補 委 補	三重県
平成27年度医科歯科連携推進人材養成事業		医学部附属病院	¥905,000	補 委 補	三重県
平成27年度三重県感染対策ネットワーク事業	田辺正樹	医学部附属病院	¥799,200	補 委 補	三重県
HTLV-1母子感染予防に関する研究：HTLV-1抗体陽性母体からの出生児のコホート研究	加藤稲子	医学部	¥500,000	補 委 補	厚生労働省
周産期医療と他領域との効果的な協働体制に関する研究	池田智明	医学部	¥5,950,000	補 委 補	厚生労働省
自己免疫性出血症治療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」治療指針の作成	和田英夫	医学部	¥500,000	補 委 補	厚生労働省
血液凝固異常症に関する調査研究	和田英夫	医学部	¥800,000	補 委 補	厚生労働省
慢性の痛み診療・教育の基盤となるシステム構築に関する研究	笠井裕一	医学部	¥200,000	補 委 補	厚生労働省
乳幼児突然死症候群（SIDS）および乳幼児突発性危急事態（ALTE）の病態解明等と死亡数減少のための研究	成田正明	医学部	¥10,000,000	補 委 補	厚生労働省
感染症発生時の公衆衛生的対策の社会影響の予測及び対策の効果に関する研究	田辺正樹	医学部附属病院	¥1,500,000	補 委 補	厚生労働省
小児期からの稀少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	内田恵一	医学部附属病院	¥100,000	補 委 補	厚生労働省
特発性大腿骨頭壊死症の疫学調査・診断基準・重症度分類の改訂と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施	須藤啓広	医学部	¥100,000	補 委	厚生労働省

小計 21

我が国に適応した神経学的予後の改善を目指した新生児蘇生法ガイドライン作成のための研究	池田智明	医学部	¥200,000	補 委	厚生労働省
Whole Slide Imaging (WSI)による病理診断の多施設検証研究	白石泰三	医学部	¥250,000	補 委	厚生労働省
重大外傷をアウトカムした転倒リスクアセスメントの多施設共同研究による有用性検証	兼児敏浩	附属病院	¥390,000	補 委	日本学術振興会
精神障害の親と暮らす子供が安心して支援に繋がるための体制づくり	鈴木大	医学部附属病院	¥91,000	補 委	日本学術振興会
パニック障害における脳内ネットワーク障害と疾患発症要因についての統合的研究	谷井久志	医学部	¥1,170,000	補 委	日本学術振興会
肝移植における肝炎ウイルス再発に対するテーラーメイド治療	臼井正信	医学部	¥650,000	補 委	日本学術振興会
冠動脈MRAにおける冠動脈狭窄のコンピュータ支援検出システムの構築と有用性の検証	中山良平	医学部附属病院	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
脳活動を指標にした感覚情報処理抑制系の解明	元村英史	医学部附属病院	¥650,000	補 委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝障害における組織リモデリング機構の共通基盤の解明	竹井謙之	医学部	¥1,560,000	補 委	日本学術振興会
EUS-FNA検体を用いた、新たな膵癌集学的治療戦略	伊佐地秀司	医学部	¥1,040,000	補 委	日本学術振興会
RNAiを用いた難治性呼吸器疾患治療への創薬の研究	小林哲	医学部附属病院	¥1,040,000	補 委	日本学術振興会
ヒトリンパ球系分化の包括的解析と骨髄リンパ球ニッチの役割の解明	大石晃嗣	医学部附属病院	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
インスリン様成長因子が神経芽腫細胞の生存・増殖に果たす役割の解明	駒田美弘	医学部	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
聴覚変化検出からみたうつ病の神経基盤	元村英史	医学部附属病院	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
15-0 水PETを基準とした3テスラ心筋血流MRIの心筋血流定量解析法の開発	石田正樹	医学部附属病院	¥1,040,000	補 委	日本学術振興会
2管球CTを用いた心筋遅延造影と細胞外液分画の評価法の確立	北川覚也	医学部附属病院	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
肝細胞癌に対するミリプラチン・リピオドール懸濁液動注後経皮的ラジオ波凝固療法	山中隆嗣	医学部附属病院	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
胃癌リンパ節転移特異性lncRNAの解明-胃癌外科的個別化治療を目指して-	大井正貴	医学部	¥910,000	補 委	日本学術振興会
二光子励起顕微鏡を用いた癌転移巣微小環境生体内可視化による薬物動態評価法の開発	田中光司	医学部附属病院	¥260,000	補 委	日本学術振興会
二光子励起顕微鏡を用いた敗血症マウス微小循環障害の生体内リアルタイムイメージング	小林美奈	医学部	¥260,000	補 委	日本学術振興会
膵癌撲滅に向けたテーラーメイド治療—化学放射線療法抵抗性・癌幹細胞に対する戦略—	水野修吾	医学部附属病院	¥1,040,000	補 委	日本学術振興会
悪性骨軟部腫瘍に対する新規温度反応性リポソームとラジオ波焼灼術との併用療法の検討	浅沼邦洋	医学部	¥1,820,000	補 委	日本学術振興会
関節軟骨に対するテネイシンCの修復促進・変性抑制の分子機構解明と治療への応用	長谷川正裕	医学部附属病院	¥1,560,000	補 委	日本学術振興会
細胞競合により制御される前立腺癌間質リモデリングの解明	石井健一郎	医学部	¥1,560,000	補 委	日本学術振興会
原発性線毛運動不全症の診断精度向上に関する研究	竹内万彦	医学部	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
体表面非接触型電気インピーダンスCT装置の開発	今井寛	医学部附属病院	¥65,000	補 委	日本学術振興会
炎症性腸疾患時のタクロリムスの薬物体内動態と薬効制御におけるマイクロRNAの役割	池村健治	医学部附属病院	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会

小計 27

生体肝移植時のカルシニューリン阻害薬の体内動態制御におけるマイクロRNAの役割	奥田真弘	医学部附属病院	¥2,470,000	補 委	日本学術振興会
境界型肺高血圧症における予後規定因子の同定と早期治療効果に関する検討	山田典一	医学部附属病院	¥520,000	補 委	日本学術振興会
東アジアから発信するNK/T細胞リンパ腫新世代治療の最適化	山口素子	医学部附属病院	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
慢性GVHD組織線維化病態におけるテネイシン-Cの役割の解明と標的治療法の開発	俵功	医学部附属病院	¥1,560,000	補 委	日本学術振興会
M2マクロファージを用いた移植後慢性GVHDに対する新規細胞治療法の開発	平山雅浩	医学部	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
炎症機序を標的とした肺動脈性肺高血圧の新規治療法の開発	澤田博文	医学部	¥1,820,000	補 委	日本学術振興会
プロテオミクスを用いたHirschsprung病の新規診断マーカーの探索	井上幹大	医学部附属病院	¥130,000	補 委	日本学術振興会
慢性皮膚炎が引き起こす炎症性サイトカインによる全身臓器病変に関する研究	山中恵一	医学部	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
3テスラMOLLI MRIによる急性心筋梗塞の心筋組織性状評価法の開発	永田幹紀	医学部附属病院	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
胃癌腹膜播種に関するlncRNAの解明—新規診断・治療法への応用を目指して—	毛利靖彦	医学部	¥1,950,000	補 委	日本学術振興会
胃癌腹膜播種を規定するmicroRNAの網羅的解析と治療戦略	沖上正人	医学部附属病院	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
エピゲノムから考案した潰瘍性大腸炎癌化ハイリスク症例の診断方法の確立	問山裕二	医学部	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
抗凝固療法不要な、自己組織による内皮化人工血管の作成、臨床応用	小沼武司	医学部附属病院	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
サルコペニア治療への挑戦—骨格筋虚血/再灌流障害の病態とオルガネラが果たす役割—	辻井雅也	医学部	¥1,040,000	補 委	日本学術振興会
Expandable pedicle screw systemの基礎的研究	笠井裕一	医学部	¥260,000	補 委	日本学術振興会
肺高血圧におけるスーパーオキシドの役割とキサンチンオキシターゼ阻害による治療	横地歩	医学部附属病院	¥1,950,000	補 委	日本学術振興会
前立腺癌間質パネルから紐解くリガンド非依存的なアンドロゲン受容体活性化分子機構	杉村芳樹	医学部	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
マクロライドの作用機序の解明と新しい併用療法の開発	石永一	医学部附属病院	¥1,170,000	補 委	日本学術振興会
嗅神経切断後のTNF- α 阻害薬による嗅神経の機能的再生促進法の確立	宮村朋孝	医学部附属病院	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
電気生理学的手法を用いた近視眼及び正視眼における網膜内層機能の評価	生杉謙吾	医学部	¥650,000	補 委	日本学術振興会
完全型先天性夜盲のイヌモデルの確立と機能・遺伝子解析	近藤峰生	医学部	¥1,430,000	補 委	日本学術振興会
薬物血中濃度に基づく外来HIV共同薬物治療管理体制の構築と薬学的評価	奥田真弘	医学部附属病院	¥585,000	補 委	日本学術振興会
医療機関における感染対策の質向上のための包括的システム構築に関する研究	田辺正樹	医学部附属病院	¥2,990,000	補 委	日本学術振興会
認知症患者に対する音楽体操の認知機能改善効果の検討	佐藤正之	医学部附属病院	¥2,600,000	補 委	日本学術振興会
左心系疾患による肺高血圧症進展のメカニズム解明および治療ターゲットの創出	土肥薫	医学部附属病院	¥1,950,000	補 委	日本学術振興会
新規白血病治療薬開拓に向けた白血病微小環境におけるN-カドヘリン分子の機能解析	岩本彰太郎	医学部附属病院	¥1,820,000	補 委	日本学術振興会
炎症関連因子—血管平滑筋脱分化を標的とした肺動脈性肺高血圧の新規治療法の開発	三谷義英	医学部附属病院	¥1,950,000	補 委	日本学術振興会

小計 27

緊張病症状の病態仮説の拡散テンソル画像による形態学的検証	城山隆	医学部附属病院	¥2,080,000	補 委	日本学術振興会
骨軟部腫瘍に対するCTガイド下凍結療法：基礎的研究と臨床試験	中塚豊真	医学部附属病院	¥3,640,000	補 委	日本学術振興会
胃癌外科的治療テーラーメイド化目的のリンパ節転移同定エピゲノムパネルの確立	安田裕美	医学部附属病院	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
集学的治療を目的とした、胃癌腹膜播種同定エピゲノムパネルの確立	志村匡信	医学部附属病院	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
大腸癌腹膜播種に関するmicroRNAの網羅的解析と治療戦略	藤川裕之	医学部附属病院	¥3,770,000	補 委	日本学術振興会
エピゲノムから考案したクローン病癌化ハイリスク症例の診断方法の確立	大北喜基	医学部附属病院	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
DNAメチル化の網羅的解析による潰瘍性大腸炎術後回腸囊炎発症の機序解明	川村幹雄	医学部附属病院	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
高齢化社会に適応する高機能性脊椎インプラントの開発	明田浩司	医学部附属病院	¥1,820,000	補 委	日本学術振興会
酸感受性受容体を中心とした骨吸収関連疼痛因子の発現検索による骨粗鬆症疼痛の解明	若林弘樹	医学部附属病院	¥1,950,000	補 委	日本学術振興会
プロテオミクスを用いた小児炎症性腸疾患の新規マーカーの探索	内田恵一	医学部附属病院	¥4,160,000	補 委	日本学術振興会
PDE2遺伝子変異を標的とした悪性腫瘍の新規治療方法の開発	村田琢	医学部附属病院	¥2,860,000	補 委	日本学術振興会
PDE1阻害剤による口腔悪性黒色腫の転移抑制機構の解明と新規治療法の開発	清水香澄	医学部附属病院	¥1,560,000	補 委	日本学術振興会
正の分布から生成されるRadial分布の性質と位置推定における精度評価	小椋透	医学部附属病院	¥260,000	補 委	日本学術振興会
成熟心筋を細胞周期に再入させることによる心筋再生の基礎的研究	橋詰令太	医学部	¥1,820,000	補 委	日本学術振興会
Hsp90阻害による炎症性皮膚疾患の新規低分子治療薬の開発	欠田成人	医学部	¥1,950,000	補 委	日本学術振興会
数値流体力学解析を用いた未破裂脳動脈瘤の破裂予測に関する研究	鈴木秀謙	医学部	¥1,820,000	補 委	日本学術振興会
間葉系幹細胞を用いた慢性根尖性歯周炎に対する新規抗炎症療法の開発	吉田恭子	医学部	¥260,000	補 委	日本学術振興会
生体肝移植におけるmarginal donor graft適当拡大に関する研究	栗山直久	医学部	¥1,040,000	補 委	日本学術振興会
間質をターゲットとする去勢抵抗性前立腺癌新規治療戦略の探索	吉尾裕子	医学部附属病院	¥1,170,000	補 委	日本学術振興会
血中・尿中腫瘍由来ペプチドの網羅的解析による新規バイオマーカーの探索	稲垣悠二	医学部附属病院	¥1,300,000	補 委	日本学術振興会
活性化プロテインCによるアレルギー性疾患新規治療法基盤の開発	高木健裕	医学部附属病院	¥1,560,000	補 委	日本学術振興会
RANK/RANKL/OPG系を標的とした椎間板変性に対する革新的治療法の開発	竹上徳彦	医学部附属病院	¥1,950,000	補 委	日本学術振興会
癌間質由来マルチバイオマーカー探索による早期去勢抵抗性前立腺癌予測システムの構築	佐々木豪	医学部附属病院	¥1,560,000	補 委	日本学術振興会
嗅神経再生促進のための抗炎症治療戦略のタイムリミットの解明	北野雅子	医学部附属病院	¥1,040,000	補 委	日本学術振興会
炎症を標的とした嗅覚障害治療法の確立	玉利健悟	医学部	¥1,170,000	補 委	日本学術振興会
トロンボモジュリンと好中球の相互作用と細胞接着への影響の解析	川本英嗣	医学部附属病院	¥1,690,000	補 委	日本学術振興会
数値流体力学を用いた脳動脈瘤の瘤壁性状診断法の確立	佐野貴則	医学部附属病院	¥1,170,000	補 委	日本学術振興会

小計 27

運動教示のためのリアルタイム身体動作符号化	坂本良太	医学部附属病院	¥1,430,000	補	日本学術振興会
炎症性サイトカインとmicroRNAは軟部腫瘍の診断・予後因子となりうるか？	中村知樹	医学部附属病院	¥1,430,000	補	日本学術振興会
膵癌に対する化学放射線治療が癌微小環境に与える影響の探索と治療への応用	村田泰洋	医学部	¥780,000	補	日本学術振興会
くも膜下出血後早期脳損傷の病態解明	藤本昌志	医学部附属病院	¥1,300,000	補	日本学術振興会
骨軟部腫瘍の免疫チェックポイント機構の解析	柿本拓也	医学部附属病院	¥1,560,000	補	日本学術振興会

小計 5

計 174

(注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

(注)2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

(注)3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印を付けた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Akinobu Nishimura, Aki Fukuda, Ko Kato, Kohzo Fujisawa, Atsumasa Uchida, Akihiro Sudo	Department of Orthopaedic and Sports Medicine, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan, meiten@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Vascular safety during arthroscopic all-inside meniscus suture.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 23(4): 975-80 2015 Apr
2	Shigeto Ikemura, Masahiro Hasegawa, Takahiro Iino, Keiichi Miyamoto, Kyoko Imanaka-Yoshida, Toshimichi Yoshida, Akihiro Sudo	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Effect of tenascin-C on the repair of full-thickness osteochondral defects of articular cartilage in rabbits.	J. Orthop. Res. 33(4): 563-71 2015 Apr
3	Satoko Uraki, Kazushi Sugimoto, Katsuya Shiraki, Masahiko Tameda, Yuji Inagaki, Suguru Ogura, Chika Kasai, Keiichiro Nojiri, Misao Yoneda, Norihiko Yamamoto, Yoshiyuki Takei, Tsutomu Nobori, Masaaki Ito	First Department of Internal Medicine, Mie University School of Medicine, Tsu, Japan.	Corrigendum: Human beta-defensin-3 inhibits migration of colon cancer cells via downregulation of metastasis-associated 1 family, member 2 expression.	Int. J. Oncol. 46(4): 1858 2015 Apr
4	Tomohiko Uka, Satoru Shikata, Machiko Inoue, Yoshinori Noguchi, Hisato Igarashi, Shuji Isaji, Toshihiko Mayumi, Masahiro Yoshida, Yousuke C	Department of Community Medicine, Mie University School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Early prophylactic antibiotics administration for acute necrotizing pancreatitis: a meta-analysis of randomized controlled trials.	J Hepatobiliary Pancreat Sci 22(4): 316-21 2015 Apr

小計 4

5	Mikihiro Inoue, Keiichi Uchida, Kohei Otake, Masato Okigami, Tomoaki Maji, Masato	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Development of acute pancreatitis after Nissen fundoplication.	Pediatr Int 57(2): e48-9 2015 Apr
6	Muneyoshi Tanimura, Kaoru Dohi, Masumi Matsuda, Yuichi Sato, Emiyo Sugiura, Naoto Kumagai, Shiro Nakamori, Tomomi Yamada, Naoki Fujimoto, Takashi Tanigawa, Norikazu Yamada, Mashio Nakamura	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan. m-tanimura@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Renal resistive index as an indicator of the presence and severity of anemia and its future development in patients with hypertension.	BMC Nephrol 16(): 45 2015 Apr
7	Yoshiki Okita, Minako Kobayashi, Toshimitsu Araki, Hiroyuki Fujikawa, Yuhki Koike, Koike Yuki, Kohei Otake, Otake Kohei, Inoue Mikihiro, Inoue Mikihiro, Yuji Toiyama, Toiyama Yuji, Masaki Ohi, Msaki Ohi, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Keiichi Uchida, Yasuhiko Mohri,	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan, nyokkin@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Impact of Surgical Infection Society/Infectious Disease Society of America-recommended antibiotics on postoperative intra-abdominal abscess with image-guided percutaneous abscess drainage following gastrointestinal surgery.	Surg. Today 45(8): 993-1000 2015 Aug

小計 3

8	Haruyuki Takaki, Koichiro Yamakado, Masakatsu Tsurusaki, Taku Yasumoto, Yasutaka Baba, Yoshiaki Narimatsu, Masashi Shimohira, Masato Yamaguchi, Kunihiro Matsuo, Yoshitaka Inaba, Koji Mikami, Ryohei Watanabe, Norifumi Nishida, Hiroshi Anai, Hideaki Kakizawa, Shozo Hirota	Department of Radiology, Mie University School of Medicine, Mie, Japan, takaki-h@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Hepatic arterial infusion chemotherapy with fine-powder cisplatin and iodized-oil suspension in patients with intermediate-stage and advanced-stage (Barcelona Clinic Liver Cancer stage-B or stage-C) hepatocellular carcinoma: multicenter phase-II clinical study.	Int. J. Clin. Oncol. 20(4): 745-54 2015 Aug
9	Kohei Otake, Keiichi Uchida, Koichiro Mori, Shozo Ide, Yuhki Koike, Mitsuyuki Takamura, Mikihiro Inoue, Masato	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Efficacy of the Japanese herbal medicine rikkunshito in infants with gastroesophageal reflux disease.	Pediatr Int 57(4): 673-6 2015 Aug
10	Shozo Ide, Yuji Toiyama, Tadanobu Shimura, Mikio Kawamura, Hiromi Yasuda, Susumu Saigusa, Masaki Ohi, Koji Tanaka, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Angiopoietin-Like Protein 2 Acts as a Novel Biomarker for Diagnosis and Prognosis in Patients with Esophageal Cancer.	Ann. Surg. Oncol. 22(8): 2585-92 2015 Aug

小計 3

11	YOSHIKI UKITA, Minako Kobayashi, Toshimitsu Araki, Hiroyuki Fujikawa, Yuhki Koike, Kohei Otake, Mikihiro Inoue, Yuji Toiyama, Masaki Ohi, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Keiichi Uchida, Yasuhiko Mohri, Koichiro	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan, nyokkin@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Erratum to: Impact of Surgical Infection Society/Infectious Disease Society of America-recommended antibiotics on postoperative intra-abdominal abscess with image-guided percutaneous abscess drainage following gastrointestinal surgery.	Surg. Today 45(8): 1001 2015 Aug
12	Koichiro Mori, Yuji Toiyama, Susumu Saigusa, Hiroyuki Fujikawa, Junichiro Hiro, Minako Kobayashi, Masaki Ohi, Toshimitsu Araki, Yasuhiro Inoue, Koji Tanaka, Yasuhiko Mohri, Masato	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan, koichiromori@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Systemic Analysis of Predictive Biomarkers for Recurrence in Colorectal Cancer Patients Treated with Curative Surgery.	Dig. Dis. Sci. 60(8): 2477-87 2015 Aug
13	Tomoyuki Enokiya, Yuichi Muraki, Takuya Iwamoto, Masahiro Okuda	Department of Pharmacy, Mie University Hospital, Faculty of Medicine, Mie University, 2-174 Edobashi, Tsu 514- 8507, Mie, Japan.	Changes in the pharmacokinetics of teicoplanin in patients with hyperglycaemic hypoalbuminaemia: Impact of albumin glycosylation on the binding of teicoplanin to albumin.	Int. J. Antimicrob. Agents 46(2): 164-8 2015 Aug
14	Kana Miyazaki, Motoko Yamaguchi, Hiroshi Imai, Kyoko Kobayashi, Satoshi Tamaru, Tohru Kobayashi, Hiroshi Shiku, Naoyuki Katayama	Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan, k-myzk@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Gene expression profiling of diffuse large B-Cell lymphomas supervised by CD5 expression.	Int. J. Hematol. 102(2): 188-94 2015 Aug

小計 4

15	Qinwen Du, Hiroshi Hosoda, Takashi Umekawa, Toshi Kinouchi, Natsuki Ito, Mikiya Miyazato, Kenji Kangawa, Tomoaki Ikeda	Department of Obstetrics and Gynecology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan; Department of Biochemistry, National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute, Suita, Osaka, Japan.	Postnatal weight gain induced by overfeeding pups and maternal high-fat diet during the lactation period modulates glucose metabolism and the production of pancreatic and gastrointestinal peptides.	Peptides 70(): 23-31 2015 Aug
16	Takashi Yamanaka, Koichiro Yamakado, Tomomi Yamada, Masashi Fujimori, Haruyuki Takaki, Atsuhiko Nakatsuka, Hajime Sakuma, Yoshiki Sugimura	Department of Radiology, Mie University School of Medicine, Tsu, Japan. Electronic address: t- yama@clin.medic.mie- u.ac.jp.	CT-Guided Percutaneous Cryoablation in Renal Cell Carcinoma: Factors Affecting Local Tumor Control.	J Vasc Interv Radiol 26(8): 1147-53 2015 Aug
17	Hiromi Yasuda, Yoshiki Okita, Hiroki Imaoka, Hiroyuki Fujikawa, Masaki Ohi, Toshimitsu Araki, Koji Tanaka, Tsunehiko Shigemori, Toshio Kato, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Edobashi 2- 174, Tsu, Mie, 514- 8507, Japan, yasuda19792@yahoo.co. jp.	Erratum to: Intestinal necrosis due to norovirus enteritis.	Clin J Gastroenterol 8(4): 253 2015 Aug
18	Kumiko Kato, Koji Hirano, Yuko Takashima, Satoe Sakamoto, Mineo Kondo	Department of Ophthalmology, Mie University School of Medicine, Tsu City, Japan. Electronic address: k- kato@clin.medic.mie- u.ac.jp.	Histopathologic findings of perforated corneas due to ferric ion infiltration.	Can. J. Ophthalmol. 50(4): 322-7 2015 Aug
19	Yoshitsugu Matsui, Hisashi Matsubara, Tsukasa Hanemoto, Mineo Kondo	Department of Ophthalmology, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. footboyslim366@gmail. com.	Exposure of haptic of posterior chamber intraocular lens after sutureless intrascleral fixation.	BMC Ophthalmol 15(): 104 2015 Aug
20	Masahiko Sugimoto, Atsushi Ichio, Mineo Kondo	Department of Ophthalmology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Short Pulse Duration High-Power Laser Photocoagulation during Vitrectomy for Diabetic Retinopathy Reduces Postoperative Inflammation.	PLoS ONE 10(8): e0135126 2015 Aug

小計 6

21	Tomoki Nakamura, Akihiko Matsumine, Takao Matsubara, Kunihiro Asanuma, Astumasa Uchida, Akihiro Sudo	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Hospital, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Clinical characteristics of patients with large and deep soft tissue sarcomas.	Oncol Lett 10(2): 841-844 2015 Aug
22	Motoh Iwasa, Yoshiyuki Takei	Department of Gastroenterology and Hepatology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Pathophysiology and management of hepatic encephalopathy 2014 update: Ammonia toxicity and hyponatremia.	Hepatol. Res. 45(12): 1155-62 2015 Dec
23	Mashio Nakamura, Norikazu Yamada, Masaaki Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan; Center for Pulmonary Embolism and Venous Thrombosis, Murase Hospital, Suzuka, Japan. Electronic address: mashio@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Current management of venous thromboembolism in Japan: Current epidemiology and advances in anticoagulant therapy.	J Cardiol 66(6): 451-9 2015 Dec
24	Takaaki Hasegawa, Koichiro Yamakado, Haruyuki Takaki, Atsuhiko Nakatsuka, Junji Uraki, Takashi Yamanaka, Masashi Fujimori, Shugo Mizuno, Shuji Isaji, Hajime Sakuma	Department of Radiology, Mie University School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. hasegawat@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Portal Venous Stent Placement for Malignant Portal Venous Stenosis or Occlusion: Who Benefits?	Cardiovasc Intervent Radiol 38(6): 1515-22 2015 Dec
25	Hiroshi Kodama, Koichiro Yamakado, Takaaki Hasegawa, Masashi Fujimori, Takashi Yamanaka, Haruyuki Takaki, Junji Uraki, Atsuhiko Nakatsuka,	From the Department of Radiology, Mie University School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Radiofrequency Ablation Using a Multiple-Electrode Switching System for Lung Tumors with 2.0-5.0-cm Maximum Diameter: Phase II Clinical Study.	Radiology 277(3): 895-902 2015 Dec

小計 5

26	Yuji Toiyama, Koji Tanaka, Takahito Kitajima, Tadanobu Shimura, Hiroki Imaoka, Koichiro Mori, Masato Okigami, Hiromi Yasuda, Yoshinaga Okugawa, Susumu Saigusa, Masaki Ohi, Yasuhiro Inoue, Yasuhiko Mohri, Ajay Goel, Masato Kusunoki	Division of Reparative Medicine, Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Institute of Life Sciences, Graduate School of Medicine, Mie University, 2-174 Edobashi, Mie 514- 8507, Japan and Center for Gastrointestinal Research and Center for Epigenetics, Cancer Preventino and Cancer genomics, Charles A. Sammons Cancer Center and Baylor Research Institute, Baylor University Medical Center, 3500 Gaston Avenue, Suite H-250, Dallas, TX 75246- 2017, USA ytoio725@clin.medic.m ie-u.ac.jp.	Serum angiopoietin-like protein 2 as a potential biomarker for diagnosis, early recurrence and prognosis in gastric cancer patients.	Carcinogenesis 36(12): 1474- 83 2015 Dec
27	Kohei Matsushita, Keiichi Uchida, Kohei Otake, Yuka Nagano, Yuki Koike, Mikihiro Inoue, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu 514- 8507, Mie, Japan. Electronic address: cohey@clin.medic.mie- u.ac.jp.	The "multiport airway adapter" in flexible bronchoscopy for peripheral bronchial foreign bodies in children.	Int. J. Pediatr. Otorhinolaryng ol. 79(12): 2470-2 2015 Dec
28	Hidekazu Tomimoto	Department of Neurology, Graduate School of Medicine, Mie University, Mie, Japan.	White matter integrity and cognitive dysfunction: Radiological and neuropsychological correlations.	Geriatr Gerontol Int 15 Suppl 1(): 3-9 2015 Dec
29	Yuichi Kasai, Toshihiko Sakakibara, Thein Aung Kyaw, Zaw Wai Soe, Zaw Min Han, Maung Mg Htwe	a Department of Spinal Surgery and Medical Engineering , Mie University Graduate School of Medicine , Tsu City , Japan .	Psychological effects of meditation at a Buddhist monastery in Myanmar.	J Ment Health (): 1-4 2015 Dec
30	Takayasu Ito, Eiji Ishikawa, Masaaki Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. takayasu@clin.medic.m ie-u.ac.jp.	Lumbar artery injury following renal biopsy.	Clin. Exp. Nephrol. 20(1): 145-6 2016 Feb

小計 5

31	Megumi Tanahashi, Eishi Motomura, Koji Inui, Keiko Ohoyama, Hisashi Tanii, Yoshiaki Konishi, Takashi Shiroyama, Makoto Nishihara, Ryusuke Kakigi, Motohiro Okada	Department of Neuropsychiatry, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Auditory change-related cerebral responses and personality traits.	Neurosci. Res. 103(): 34-9 2016 Feb
32	Kohei Otake, Keiichi Uchida, Shozo Ide, Yuhko Kobayashi, Issei Kobayashi, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Identification of DDX39A as a Potential Biomarker for Unfavorable Neuroblastoma Using a Proteomic Approach.	Pediatr Blood Cancer 63(2): 221-7 2016 Feb
33	Takumi Aota, Hideo Wada, Yoshiki Yamashita, Takeshi Matsumoto, Kohshi Ohishi, Kei Suzuki, Hiroshi Imai, Masanobu Usui, Shuji Isaji, Naoyuki Katayama	Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	The efficacy of the administration of recombinant human soluble thrombomodulin in patients with DIC.	Int. J. Hematol. 103(2): 173-9 2016 Feb
34	Yuji Inagaki, Katsuya Shiraki, Kazushi Sugimoto, Takazumi Yada, Masahiko Tameda, Suguru Ogura, Norihiko Yamamoto, Yoshiyuki Takei, Masaaki Ito	Department of Gastroenterology and Hepatology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Epigenetic regulation of proliferation and invasion in hepatocellular carcinoma cells by CBP/p300 histone acetyltransferase activity.	Int. J. Oncol. 48(2): 533-40 2016 Feb

小計 4

35	Haruyuki Takaki, Atsuhiko Nakatsuka, Francois Cornelis, Takashi Yamanaka, Takaaki Hasegawa, Hajime Sakuma, Koichiro Yamakado	1 Department of Interventional Radiology, Mie University School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	False-Positive Tumor Enhancement After Cryoablation of Renal Cell Carcinoma: A Prospective Study.	AJR Am J Roentgenol 206(2) : 332-9 2016 Feb
36	Masahiko Sugimoto, Atsushi Ichio, Mineo Kondo	Department of Ophthalmology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Importance of Central Retinal Sensitivity for Prediction of Visual Acuity after Intravitreal Bevacizumab in Eyes with Macular Edema Associated with Branch Retinal Vein Occlusion.	PLoS ONE 11(2) : e0149246 2016 Feb
37	Hiroaki Tanaka, Shinji Katsuragi, Kazuhiro Osato, Junichi Hasegawa, Masahiko Nakata, Takeshi Murakoshi, Jun Yoshimatsu, Akihiko Sekizawa, Naohiro Kanayama, Isamu Ishiwata, Tomoaki Ikeda	Department of Obstetrics and Gynecology, Mie University School of Medicine, Mie, Japan. Electronic address: h_tanaka@med.miyazaki-u.ac.jp.	The increase in the rate of maternal deaths related to cardiovascular disease in Japan from 1991-1992 to 2010-2012.	J Cardiol () : 2016 Feb
38	Susumu Saigusa, Yuji Toiyama, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Koichiro Mori, Shozo Ide, Hiroki Imaoka, Mikio Kawamura, Yasuhiko	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. saigusa@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Implication of programmed cell death ligand 1 expression in tumor recurrence and prognosis in rectal cancer with neoadjuvant chemoradiotherapy.	Int. J. Clin. Oncol. () : 2016 Feb
39	Michiko Goto, Yousuke C Takemura	Department of Education and Research in Family and Community Medicine, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie 514-8507 Japan.	Which medical interview skills are associated with patients' verbal indications of undisclosed feelings of anxiety and depressive feelings?	Asia Pac Fam Med 15() : 2 2016 Feb
40	Hidenori Suzuki, Fumihiro Kawakita	Department of Neurosurgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Tenascin-C in aneurysmal subarachnoid hemorrhage: deleterious or protective?	Neural Regen Res 11(2) : 230-1 2016 Feb

小計 6

41	Yuji Toiyama, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Graduate School of Medicine, Mie University, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. ytoi0725@clin.medic.m ie-u.ac.jp.	Circulating cell-free microRNAs as biomarkers for colorectal cancer.	Surg. Today 46(1): 13-24 2016 Jan
42	Koji Habe, Hideo Wada, Takeshi Matsumoto, Kohshi Ohishi, Makoto Ikejiri, Kenshiro Tsuda, Makoto Kondo, Yuki Kamimoto, Tomoaki Ikeda, Naoyuki Katayama, Hitoshi Mizutani	Department of Dermatology, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Tsu, Japan.	Plasma ADAMTS13, von Willebrand Factor (VWF), and VWF Propeptide Profiles in Patients With Connective Tissue Diseases and Antiphospholipid Syndrome.	Clin. Appl. Thromb. Hemost. (): 2016 Jan
43	Tomoko Ogawa, Noriko Hanamura	Department of Breast Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174, Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. mocomoko@clin.medic.m ie-u.ac.jp.	Oncoplastic surgery combining abdominal advancement flaps with volume displacement techniques to breast- conserving surgery for small- to medium- sized breasts.	Breast Cancer (): 2016 Jan
44	Hiroataka Kida, Masayuki Satoh, Yuichiro Ii, Hidenao Fukuyama, Masayuki Maeda, Hidekazu Tomimoto	Department of Dementia Prevention and Therapeutics, Graduate School of Medicine, Mie University, Mie, Japan.	Detection of cerebral amyloid angiopathy by 3-T magnetic resonance imaging and amyloid positron emission tomography in a patient with subcortical ischaemic vascular dementia.	Psychogeriatric (): 2016 Jan
45	K Kanayama, H Imai, M Yoneda, A Hayashi, Y S Hirokawa, T Shiraishi	Department of Oncologic Pathology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Cytological findings of an ectopic pancreas of the stomach obtained at endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration, differential diagnosis from acinar cell carcinoma: a case report.	Cytopathology (): 2016 Jan

小計 5

46	Yoshiki Okita, Toshimitsu Araki, Mikio Kawamura, Satoru Kondo, Mikihiro Inoue, Minako Kobayashi, Yuji Toiyama, Masaki Ohi, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Keiichi Uchida, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Division of Reparative Medicine, Departments of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. nyokkin@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Clinical features and management of afferent limb syndrome after ileal pouch-anal anastomosis for ulcerative colitis.	Surg. Today (): 2016 Jan
47	Tomoki Nakamura, Akihiko Matsumine, Kunihiro Asanuma, Takao Matsubara, Akihiro Sudo	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Hospital, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Treatment of bone defect with calcium phosphate cement subsequent to tumor curettage in pediatric patients.	Oncol Lett 11(1): 247-252 2016 Jan
48	Akiko Oka, Kengo Ikesugi, Mineo Kondo	Department of Ophthalmology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Idiopathic Intracranial Hypertension in a Prepubertal Pediatric Japanese Patient Complicated by Severe Papilledema.	Case Rep Ophthalmol 7(1): 148-53 2016 Jan-Apr
49	Hisashi Matsubara, Ryohei Miyata, Maki Kobayashi, Hideyuki Tsukitome, Kengo Ikesugi, Mineo Kondo	Department of Ophthalmology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	A Case of Sustained Intraocular Pressure Elevation after Multiple Intravitreal Injection of Ranibizumab and Aflibercept for Neovascular Age-Related Macular Degeneration.	Case Rep Ophthalmol 7(1): 230-6 2016 Jan-Apr
50	Yuki Kamimoto, Hideo Wada, Makoto Ikejiri, Kaname Nakatani, Takashi Sugiyama, Kazuhiro Osato, Nao Murabayashi, Koji Habe, Hitoshi Mizutani, Takeshi Matsumoto, Kohshi Ohishi, Tomoaki Ikeda	Department of Obstetrics and Gynecology, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Tsu, Japan.	Hypofibrinogenemia and the alpha-Fibrinogen Thr312Ala Polymorphism may be Risk Factors for Early Pregnancy Loss.	Clin. Appl. Thromb. Hemost. (): 2015 Jul

小計 5

51	Yasuhiro Inoue, Aya Kawamoto, Yoshinaga Okugawa, Junichiro Hiro, Susumu Saigusa, Yuji Toiyama, Toshimitsu Araki, Koji Tanaka, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Efficacy and safety of laparoscopic surgery in elderly patients with colorectal cancer.	Mol Clin Oncol 3(4): 897-901 2015 Jul
52	Yoshiaki Iwashita, Mashiro Yukimitsu, Masaki Matsuduki, Akitaka Yamamoto, Ken Ishikura, Hiroshi Imai	Emergency and Critical Care Center, Mie University Hospital, Edobashi 2-174, Tsu, Mie Japan.	Use of a fixed, body weight-unadjusted loading dose of unfractionated heparin for extracorporeal cardiopulmonary resuscitation.	J Intensive Care 3(1): 33 2015 Jul
53	Hiroshi Sakaida, Kazuhiko Takeuchi	Department of Otorhinolaryngology-Head and Neck Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Intratympanic membrane congenital cholesteatoma.	Ear Nose Throat J 94(7): 256-60 2015 Jul
54	Yasuhiko Mohri, Hiromi Yasuda, Masaki Ohi, Koji Tanaka, Susumu Saigusa, Masato Okigami, Tadanobu Shimura, Minako Kobayashi, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan, yamohri@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Short- and long-term outcomes of laparoscopic gastrectomy in elderly patients with gastric cancer.	Surg Endosc 29(6): 1627-35 2015 Jun
55	Hiroyuki Inoue, Masaki Katsurahara, Yoshiyuki Takei	Department of Gastroenterology and Hepatology, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Intraductal papillary mucinous neoplasm presenting as hemosuccus pancreaticus.	Clin. Gastroenterol. Hepatol. 13(6): e57-8 2015 Jun

小計 5

56	TOSHIMITSU Araki, Mikio Kawamura, Koji Tanaka, Yoshiki Okita, Hiroyuki Fujikawa, Keiichi Uchida, Yuji Toiyama, Yasuhiro Inoue, Yasuhiko Mohri, Masato Kusuyuki	Division of Reparative Medicine, Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan, taraki@clin.medic.mie -u.ac.jp.	FK506-Binding Protein 5 mRNA Levels in Ileal Mucosa Are Associated with Pouchitis in Patients with Ulcerative Colitis.	Dig. Dis. Sci. 60(6): 1617-23 2015 Jun
57	NOHORIKI Horiki, Keiichi Furukawa, Takashi Kitade, Takashi Sakuno, Masaki Katsurahara, Tetsuro Harada, Shunsuke Tano, Reiko Yamada, Yasuhiko Hamada, Hiroyuki Inoue, Kyosuke Tanaka, Esteban C Gabazza, Naoki Ishii, Katsuyuki Fukuda, Fumio Omata, Yoshiyuki Fujita, Hiroshi Tachihana	Department of Endoscopy, Mie University Hospital, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. Electronic address: nohoriki@clin.medic.m ie-u.ac.jp.	Endoscopic findings and lesion distribution in amebic colitis.	J. Infect. Chemother. 21(6): 444-8 2015 Jun
58	SHUJI ISAJI, Tadahiro Takada, Toshihiro Mayumi, Masahiro Yoshida, Keita Wada, Masamichi Yokoe, Takao Itoi, Toshifumi Gabata	Hepatobiliary Pancreatic & Transplant Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan.	Revised Japanese guidelines for the management of acute pancreatitis 2015: revised concepts and updated points.	J Hepatobiliary Pancreat Sci 22(6): 433-45 2015 Jun
59	Takaya Moriyama, Mary V Relling, Jun J Yang	Department of Pediatrics, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan; and Department of Pharmaceutical Sciences, St. Jude Children's Research Hospital, Memphis, TN.	Inherited genetic variation in childhood acute lymphoblastic leukemia.	Blood 125(26): 3988-95 2015 Jun

小計 4

60	Masaki Ohi, Koichiro Mori, Yuji Toiyama, Yasuhiko Mohri, Masato Okigami, Hiromi Yasuda, Susumu Saigusa, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Masato	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Graduate School of Medicine, Mie University, Mie, Japan.	Preoperative prediction of peritoneal metastasis in gastric cancer as an indicator for neoadjuvant treatment.	Anticancer Res. 35(6): 3511-8 2015 Jun
61	T Nakamura, A Matsumine, K Asanuma, T Matsubara, A Sudo	Mie University Graduate School of Medicine, 2-174, Edobashi, Tsu-city, Mie, Japan.	The value of the high-sensitivity modified Glasgow prognostic score in predicting the survival of patients with a soft-tissue sarcoma.	Bone Joint J 97-B(6): 847- 52 2015 Jun
62	Hiroshi Sakaida, Kazuhiko Takeuchi	Department of Otorhinolaryngology- Head and Neck Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Dehiscent high jugular bulb attached to the tympanic membrane.	Ear Nose Throat J 94(6): 210; 212 2015 Jun
63	Ken-Ichi Tabei, Masayuki Satoh, Hirotaka Kida, Moeni Kizaki, Haruno Sakuma, Hajime Sakuma, Hidekazu Tomimoto	Department of Dementia Prevention and Therapeutics, Graduate School of Medicine, Mie University, Mie, Japan; Department of Neurology, Graduate School of Medicine, Mie University, Mie, Japan.	Involvement of the Extrageniculate System in the Perception of Optical Illusions: A Functional Magnetic Resonance Imaging Study.	PLoS ONE 10(6): e0128750 2015 Jun
64	Michiko Goto, Shoji Yokoya, Yousuke Takemura, Alberto Alexander Gayle, Tsukasa Tsuda	Department of Education and Research in Family and Community Medicine, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie 514-8507 Japan.	Describing the factors that influence the process of making a shared-agenda in Japanese family physician consultations: a qualitative study.	Asia Pac Fam Med 14(1): 6 2015 Jun
65	Satoko Uraki, Masahiko Tameda, Kazushi Sugimoto, Katsuya Shiraki, Yoshiyuki Takei, Tsutomu Nobori, Masaaki Ito	First Department of Internal Medicine, Mie University School of Medicine, Tsu, Japan.	Substitution in Amino Acid 70 of Hepatitis C Virus Core Protein Changes the Adipokine Profile via Toll-Like Receptor 2/4 Signaling.	PLoS ONE 10(6): e0131346 2015 Jun

小計 6

66	Mikio Sasoh, Hitoshi Mizutani, Hisashi Matsubara, Motoyasu Furuta, Yoshitsugu Matsui, Kei- Ichi Yamanaka, Mineo Kondo	Department of Ophthalmology, Graduate School of Medicine, Mie University, Tsu, Japan ; Local Independent Administrative Institution, Mie Prefectural General Medical Center, Yokkaichi, Japan.	Incidence of retinal detachment associated with atopic dermatitis in Japan: review of cases from 1992 to 2011.	Clin Ophthalmol 9(): 1129-34 2015 Jun
67	Tomoki Nakamura, Akihiko Matsumine, Kunihiro Asanuma, Takao Matsubara, Akihiro Sudo	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine Tsu Japan.	Treatment of the benign bone tumors including femoral neck lesion using compression hip screw and synthetic bone graft.	SICOT J 1(): 15 2015 Jun
68	Mikihiro Inoue, Keiichi Uchida, Kohei Otake, Yuka Nagano, Koichiro Mori, Kiyoshi Hashimoto, Kohei Matsushita, Yuhki Koike, Aki Uemura, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Edobashi 2- 174, Tsu, Mie, 514- 8507, Japan. mikihiro@clin.medic.m ie-u.ac.jp.	Thoracoscopic repair of congenital diaphragmatic hernia with countermeasures against reported complications for safe outcomes comparable to laparotomy.	Surg Endosc 30(3): 1014-9 2016 Mar
69	Yuhki Koike, Keiichi Uchida, Yuka Nagano, Kohei Matsushita, Kohei Otake, Mikihiro Inoue, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan. Electronic address: koikyongmail.com.	Enteral refeeding is useful for promoting growth in neonates with enterostomy before stoma closure.	J. Pediatr. Surg. 51(3): 390-4 2016 Mar
70	Takeshi Sasaki, Kenichiro Ishii, Yoichi Iwamoto, Manabu Kato, Manabu Miki, Hideki Kanda, Kiminobu Arima, Taizo Shiraishi, Yoshiki Sugimura	Department of Nephro- Urologic Surgery and Andrology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Fibroblasts prolong serum prostate- specific antigen decline after androgen deprivation therapy in prostate cancer.	Lab. Invest. 96(3): 338-49 2016 Mar

小計 5

71	ATSUNIRO Nakatsuka, Koichiro Yamakado, Junji Uraki, Haruyuki Takaki, Takashi Yamanaka, Masashi Fujimori, Takaaki Hasegawa, Hajime Sakuma	Department of Radiology, Mie University School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Safety and Clinical Outcomes of Percutaneous Radiofrequency Ablation for Intermediate and Large Bone Tumors Using a Multiple-Electrode Switching System: A Phase II Clinical Study.	J Vasc Interv Radiol 27(3): 388-94 2016 Mar
72	Akinori Takada, Tatsuya Nakamura, Kanao Takayama, Chiyoko Makita, Motohisa Suzuki, Yusuke Azami, Takahiro Kato, Iwao Tsukiyama, Masato Hareyama, Yasuhiro Kikuchi, Takashi Daimon, Yutaka Toyomasu, Noriko Ii, Yoshihito Nomoto, Hajime Sakuma	Department of Radiation Oncology, Mie University Hospital, Tsu, Mie, Japan.	Preliminary treatment results of proton beam therapy with chemoradiotherapy for stage I-III esophageal cancer.	Cancer Med 5(3): 506-15 2016 Mar
73	HIROAKI Tanaka, Shinji Katsuragi, Kayo Tanaka, Takuya Kawamura, Masafumi Nii, Michiko Kubo, Kazuhiro Osato, Yoshihito Sasaki, Tomoaki Ikeda	a Department of Obstetrics and Gynecology , Mie University School of Medicine , Mie , Japan .	Application of the perfusion index in obstetric bleeding.	J. Matern. Fetal. Neonatal. Med. (): 1-3 2016 Mar
74	Maki Umino, Masayuki Maeda, Yuichiro Ii, Hidekazu Tomimoto, Hajime Sakuma	Department of Radiology, Mie University School of Medicine, Japan.	Low-signal-intensity rim on susceptibility-weighted imaging is not a specific finding to progressive multifocal leukoencephalopathy.	J. Neurol. Sci. 362(): 155-9 2016 Mar

小計 4

75	Tomohiko Ukai, Satoru Shikata, Hiromu Takeda, Lauren Dawes, Yoshinori Noguchi, Takeo Nakayama, Yousuke C Takemura	Department of Community Medicine, Mie University School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan.	Evidence of surgical outcomes fluctuates over time: results from a cumulative meta-analysis of laparoscopic versus open appendectomy for acute appendicitis.	BMC Gastroenterol 16(): 37 2016 Mar
76	Yasuhiko Mohri, Koji Tanaka, Yuji Toiyama, Masaki Ohi, Hiromi Yasuda, Yasuhiro Inoue, Masato Kusunoki	From the Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Impact of Preoperative Neutrophil to Lymphocyte Ratio and Postoperative Infectious Complications on Survival After Curative Gastrectomy for Gastric Cancer: A Single Institutional Cohort Study.	Medicine (Baltimore) 95(11): e3125 2016 Mar
77	K Isoda, Y Takagi, K Endo, M Miyaki, K Matsuo, K Umeda, K Umeda-Togami, H Mizutani	Department of Dermatology, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Effects of washing of the face with a mild facial cleanser formulated with sodium laureth carboxylate and alkyl carboxylates on acne in Japanese adult males.	Skin Res Technol 21(2): 247-53 2015 May
78	Yuhki Koike, Koji Tanaka, Minako Kobayashi, Yuji Toiyama, Yasuhiro Inoue, Yasuhiko Mohri, Keiichi Uchida, Akira Mizoguchi, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan. Electronic address: koikyon@clin.medic.mi e-u.ac.jp.	Dynamic pathology for leukocyte-platelet formation in sepsis model.	J. Surg. Res. 195(1): 188-95 2015 May
79	Jun Masuda, Takashi Tanigawa, Tomomi Yamada, Yuki Nishimura, Takashi Sasou, Tomoyuki Nakata, Toshiki Sawai, Naoki Fujimoto, Kaoru Dohi, Masatoshi Miyahara, Masakatsu Nishikawa, Mashio Nakamura, Masaki Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine.	Effect of combination therapy of ezetimibe and rosuvastatin on regression of coronary atherosclerosis in patients with coronary artery disease.	Int Heart J 56(3): 278-85 2015 May

小計 5

80	Koji Akeda, Yuichi Kasai, Toshihiko Sakakibara, Akihiko Matsumine, Norihiro Takegami, Junichi Yamada, Akihiro Sudo	From the Departments of *Orthopaedic Surgery and †Spinal Surgery and Medical Engineering, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Effect of denosumab on recurrent giant cell reparative granuloma of the lumbar spine.	Spine 40(10): E601-8 2015 May
81	YUJI Itoyama, Yasuhiro Inoue, Tadanobu Shimura, Hiroyuki Fujikawa, Susumu Saigusa, Jyunichiro Hiro, Minako Kobayashi, Masaki Ohi, Toshimitsu Araki, Koji Tanaka, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Graduate School of Medicine, Mie University, Mie, Japan ytoi0725@clin.medic.m ie-u.ac.jp.	Serum Angiopoietin-like Protein 2 Improves Preoperative Detection of Lymph Node Metastasis in Colorectal Cancer.	Anticancer Res. 35(5): 2849-56 2015 May
82	Keiichi Uchida, Yuhki Koike, Kohei Matsushita, Yuka Nagano, Kiyoshi Hashimoto, Kohei Otake, Mikihiro Inoue, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Meconium peritonitis: Prenatal diagnosis of a rare entity and postnatal management.	Intractable Rare Dis Res 4(2): 93-7 2015 May
83	Koichiro Mori, Yuhki Koike, Mikihiro Inoue, Kohei Ohtake, Koji Tanaka, Keichi Uchida, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Departments of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Success of Minimally Invasive Transumbilical Single-Incision Laparoscopic Surgery (T-SILS) Plus Double-Balloon Endoscopy (DBE) for Pediatric Intestinal Angiodysplasia: A Case Report.	Int Surg 100(5): 920-3 2015 May
84	Motoh Iwasa, Tomoaki Ishihara, Rumi Mifuji-Moroka, Naoki Fujita, Yoshinao Kobayashi, Hiroshi Hasegawa, Kazuko Iwata, Masahiko Kaito, Yoshiyuki Takei	Department of Gastroenterology and Hepatology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan. Electronic address: motoh@clin.medic.mie- u.ac.jp.	Elevation of branched-chain amino acid levels in diabetes and NAFL and changes with antidiabetic drug treatment.	Obes Res Clin Pract 9(3): 293-7 2015 May-Jun

小計 5

85	Takaaki Hasegawa, Koichiro Yamakado, Atsuhiko Nakatsuka, Junji Uraki, Takashi Yamanaka, Masashi Fujimori, Manabu Miki, Takeshi Sasaki, Hajime Sakuma, Yoshiki Sugimura	From the Departments of Radiology (T.H., K.Y., A.N., J.U., T.Y., M.F., H.S.) and Urology (M.M., T.S., Y.S.), Mie University School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie 514-8507, Japan.	Unresectable Adrenal Metastases: Clinical Outcomes of Radiofrequency Ablation.	Radiology 277(2): 584-93 2015 Nov
86	Hiroki Wakabayashi, Masahiro Hasegawa, Rui Niimi, Akihiro Sudo	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Japan. Electronic address: whiroki@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Clinical analysis of preoperative deep vein thrombosis risk factors in patients undergoing total hip arthroplasty.	Thromb. Res. 136(5): 855-8 2015 Nov
87	Makoto Kondo, Shigehiro Akachi, Mitsuo Kawano, Keiichi Yamanaka, Akisa Yamagiwa, Esteban C Gabazza, Katsuhiko Ando, Hitoshi Mizutani	Department of Dermatology, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Improvement in early diagnosis of Japanese spotted fever by using a novel Rick PCR system.	J. Dermatol. 42(11): 1066-71 2015 Nov
88	Yoshihiro Miura, Masahiro Hasegawa, Akihiro Sudo, Giuseppe Pezzotti, Leonardo Puppulin	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University, Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu 514-8507, Mie, Japan.	In-vivo degradation of middle-term highly cross-linked and remelted polyethylene cups: Modification induced by creep, wear and oxidation.	J Mech Behav Biomed Mater 51(): 13-24 2015 Nov
89	Shoichiro Otsuki, Shotaro Iwamoto, Eiichi Azuma, Yuji Nashida, Shigehiro Akachi, Kiyosu Taniguchi, Masamune Higashigawa, Yoshihiro Komada	*Department of Pediatrics, Mie University School of Medicine †Department of Pediatrics, Ise Red Cross Hospital ‡Mie Prefecture Health and Environment Research Institute §Department of Clinical Research, Mie National Hospital, Mie, Japan.	Hemophagocytic Lymphohistiocytosis Due to Rickettsia Japonica in a 3-Month-old Infant.	J. Pediatr. Hematol. Oncol. 37(8): 627-8 2015 Nov

小計 5

90	Masakatsu Nishikawa, Takaaki Isshiki, Takeshi Kimura, Hisao Ogawa, Hiroyoshi Yokoi, Shunichi Miyazaki, Yasuo Ikeda, Masato Nakamura, Atsushi Takita	Clinical Research Support Center, Mie University Hospital, Mie, Japan. Electronic address: nisikawa@clin.medic.mie-u.ac.jp.	No association between on-treatment platelet reactivity and bleeding events following percutaneous coronary intervention and antiplatelet therapy: A post hoc analysis.	Thromb. Res. 136(5): 947-54 2015 Nov
91	Kenya Ie, Shuhei Ichikawa, Yousuke C Takemura	Department of Family Medicine, Mie University School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan. iekenya0321@gmail.com	Development of a questionnaire to measure primary care physicians' scope of practice.	BMC Fam Pract 16(): 161 2015 Nov
92	Koji Akeda, Tomomi Yamada, Nozomu Inoue, Akinobu Nishimura, Akihiro Sudo	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu City, Mie, 514-8507, Japan. k_akeda@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Risk factors for lumbar intervertebral disc height narrowing: a population-based longitudinal study in the elderly.	BMC Musculoskelet Disord 16(): 344 2015 Nov
93	Lei Qi, Hidemi Toyoda, Dong-Qing Xu, Ye Zhou, Naoto Sakurai, Keishirou Amano, Kentaro Kihira, Hiroki Hori, Eiichi Azuma, Yoshihiro Komada	Department of Pediatrics and Developmental Science, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie 514-8507 Japan ; Department of Pediatrics, Xin Hua Hospital Affiliated to Shanghai Jiao Tong University School of Medicine, 1665 Kong Jiang Road, Shanghai, 200092 China.	Erratum to: PDK1-mTOR signaling pathway inhibitors reduce cell proliferation in MK2206 resistant neuroblastoma cells.	Cancer Cell Int. 15(): 108 2015 Nov
94	Tomoko Ogawa	Department of Breast Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi Tsu, Mie 514-8507, Japan. Electronic address: mokomoko@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Goldilocks mastectomy for obese Japanese females with breast ptosis.	Asian J Surg 38(4): 232-5 2015 Oct

小計 5

95	Takuya Iwamoto, Fumihiko Monma, Atsushi Fujieda, Kaname Nakatani, Alberto A Gayle, Tsutomu Nobori, Naoyuki Katayama, Masahiro Okuda	*Department of Pharmacy, Mie University Hospital; Departments of † Hematology and Oncology, and ‡ Molecular and Laboratory Medicine, Faculty of Medicine; and §Center for Medical and Nursing Education, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Effect of Genetic Polymorphism of CYP3A5 and CYP2C19 and Concomitant Use of Voriconazole on Blood Tacrolimus Concentration in Patients Receiving Hematopoietic Stem Cell Transplantation.	Ther Drug Monit 37(5) : 581-8 2015 Oct
96	TOSHIMI OKUDA, Toshimitsu Araki, Junichiro Hiro, Shozo Ide, Hiroki Imaoka, Satoru Kondo, Mikio Kawamura, Hiroyuki Fujikawa, Mikihiro Inoue, Yuji Toiyama, Masaki Ohi, Koji Tanaka, Yasuhiro Inoue, Keiichi Uchida, Yasuhiko Mabuchi, Masato	Departments of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Systemic Acute-phase Response in Laparoscopic and Open Ileal Pouch Anal Anastomosis in Patients With Ulcerative Colitis: A Case-matched Comparative Study.	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech 25(5) : 424-9 2015 Oct
97	Erquan Zhang, Junko Maruyama, Ayumu Yokochi, Yoshihide Mitani, Hirofumi Sawada, Masakatsu Nishikawa, Ning Ma, Kazuo Maruyama	Department of Anesthesiology and Critical Care Medicine, Mie University School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie, 514-8507, Japan.	Sarpogrelate hydrochloride, a serotonin 5HT2A receptor antagonist, ameliorates the development of chronic hypoxic pulmonary hypertension in rats.	J Anesth 29(5) : 715-23 2015 Oct

小計 3

98	Muneyoshi Tanimura, Kaoru Dohi, Masahiro Hirayama, Yuichi Sato, Emiyo Sugiura, Hiroshi Nakajima, Shinji Kanemitsu, Hidemi Toyoda, Norikazu Yamada, Masahiro Masuya, Kyoko Imanaka-Yoshida, Hideto Shimo, Eiichi Azuma, Masaaki Ito	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Recurrent inflammatory aortic aneurysms in chronic mucocutaneous candidiasis with a gain-of-function STAT1 mutation.	Int. J. Cardiol. 196(): 88-90 2015 Oct
99	M Tsujii, R Iida, H Satonaka, A Sudo	Department of Orthopaedic Surgery, Graduate School of Medicine, Mie University, 2-174 Edobashi, 514-8507 Tsu City, Japan. Electronic address: m-t727@clin.medic.mie-u.ac.jp.	Usefulness and complications associated with thenar and standard portals during arthroscopic surgery of thumb carpometacarpal joint.	Orthop Traumatol Surg Res 101(6): 741-4 2015 Oct
100	Yuka Sugimoto, Akiko Sada, Yuji Shimokariya, Fumihiko Monma, Kohshi Ohishi, Masahiro Masuya, Tsutomu Nobori, Toshimitsu Matsui, Naoyuki Katayama	Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan. Electronic address: yuka2@clin.medic.mie-u.ac.jp.	A novel FOXP1-PDGFR α fusion gene in myeloproliferative neoplasm with eosinophilia.	Cancer Genet 208(10): 508-12 2015 Oct

小計 3

101	Ryo Uratani, Yuji Toiyama, Tadanobu Shimura, Koichiro Mori, Hiroyuki Fujikawa, Jyunichiro Hiro, Masaki Ohi, Yasuhiro Inoue, Koji Tanaka, Toshimitsu Araki, Yasuhiko Mohri, Masato Kusunoki	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Division of Reparative Medicine, Institute of Life Sciences, Graduate School of Medicine, Mie University, Mie, Japan.	Preoperative Lower Body Mass Index Correlates with Poorer Prognosis in Patients Undergoing Curative Laparoscopic Surgery for Colorectal Cancer.	Anticancer Res. 35(10): 5639-48 2015 Oct
102	Masaya Taniguchi, Ryuji Okamoto, Masaaki Ito, Itaru Goto, Satoshi Fujita, Katsuhisa Konishi, Hideo Mizutani, Kaoru Dohi, David J Hartshorne, Takeo Itoh	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, Edobashi, Tsu 514- 8507, Mie, Japan.	New Isoform of Cardiac Myosin Light Chain Kinase and the Role of Cardiac Myosin Phosphorylation in alpha1- Adrenoceptor Mediated Inotropic Response.	PLoS ONE 10(10): e0141130 2015 Oct
103	Hiroshi Sakaida, Kazuhiko Takeuchi	Department of Otorhinolaryngology- Head and Neck Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Cochlear Fistula as a Late Consequence of Tympanomastoidectomy.	Otol. Neurotol. 36(9): e148-9 2015 Sep
104	Tomoki Nakamura, Akihiko Matsumine, Kunihiro Asanuma, Takao Matsubara, Akihiro Sudo	Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174, Edobashi, Tsu City, Mie, 514-8507, Japan. tomoki66@clin.medic.m ie-u.ac.jp.	The role of C-reactive protein in predicting post-metastatic survival of patients with metastatic bone and soft tissue sarcoma.	Tumour Biol. 36(10): 7515- 20 2015 Sep

小計 4

105	TAKI KAIMOTO, Hideo Wada, Makoto Ikejiri, Kaname Nakatani, Takashi Sugiyama, Kazuhiro Osato, Nao Murabayashi, Norikazu Yamada, Takeshi Matsumoto, Kohshi Ohishi, Hidehiro Ishikawa, Hidekazu Tomimoto, Masaaki Ito, Tomoaki Ikeda	Department of Obstetrics and Gynecology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	High frequency of decreased antithrombin level in pregnant women with thrombosis.	Int. J. Hematol. 102(3) : 253-8 2015 Sep
106	M Nakamura, Y Q Wang, C Wang, D Oh, W- H Yin, T Kimura, K Miyazaki, K Abe, M Mercuri, L H Lee, A Segers, H Buller	Department of Cardiology and Nephrology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Efficacy and safety of edoxaban for treatment of venous thromboembolism: a subanalysis of East Asian patients in the Hokusai-VTE trial.	J. Thromb. Haemost. 13(9) : 1606-14 2015 Sep
107	MOTOH IWASA, Ryosuke Sugimoto, Kyoko Yoshikawa, Hirohide Miyachi, Rumi Mifuji-Moroka, Hideaki Tanaka, Yoshinao Kobayashi, Hiroshi Hasegawa, Yoshiyuki	Department of Gastroenterology and Hepatology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan. Electronic address: motoh@clin.medic.mie- u. ac. jp.	Change in skeletal muscle mass after administering entecavir in patients with hepatitis B.	Nutrition 31(9) : 1173-4 2015 Sep
108	Tadanobu Shimura, Yuji Toiyama, Koji Tanaka, Susumu Saigusa, Takahito Kitajima, Satoru Kondo, Masato Okigami, Hiromi Yasuda, Masaki Ohi, Toshimitsu Araki, Yasuhiro Inoue, Keiichi Uchida, Yasuhiko Mohri, Masato	Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan t- shimura@clin.medic.mi e-u. ac. jp.	Angiopoietin-like Protein 2 as a Predictor of Early Recurrence in Patients After Curative Surgery for Gastric Cancer.	Anticancer Res. 35(9) : 4633-9 2015 Sep

小計 4

109	Naoki Takahashi, Masanobu Usui, Katsuki Naitoh, Hideo Wada, Toshiki Mastui, Toshihiko Kobayashi, Takeshi Matsumoto, Shinji Uemoto, Shuji Isaji	Hepatobiliary Pancreatic and Transplant Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Mie, Japan.	Elevated Soluble Platelet Glycoprotein VI Levels in Patients After Living Donor Liver Transplantation.	Clin. Appl. Thromb. Hemost. (): 2015 Sep
110	Mineo Kondo, Gautami Das, Ryoetsu Imai, Evelyn Santana, Tomio Nakashita, Miho Imawaka, Kosuke Ueda, Hirohiko Ohtsuka, Kazuhiko Sakai, Takehiro Aihara, Kumiko Kato, Masahiko Sugimoto, Shinji Ueno, Yuji Nishizawa, Gustavo D Aguirre, Keiko Miyadera	Department of Ophthalmology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	A Naturally Occurring Canine Model of Autosomal Recessive Congenital Stationary Night Blindness.	PLoS ONE 10(9) : e0137072 2015 Sep
111	Kazunori Nakase, Kenkichi Kita, Taiichi Kyo, Takanori Ueda, Isao Tanaka, Naoyuki Katayama	Cancer Center, Mie University Hospital, Tsu, Japan; Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Prognostic Relevance of Cytokine Receptor Expression in Acute Myeloid Leukemia: Interleukin-2 Receptor alpha-Chain (CD25) Expression Predicts a Poor Prognosis.	PLoS ONE 10(9) : e0128998 2015 Sep
112	Hiroki Wakabayashi, Tomoki Nakamura, Akinobu Nishimura, Tomohito Hagi, Masahiro Hasegawa, Akihiro Sudo	a Department of Orthopaedic Surgery, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Mie, Japan.	Isolated proximal tibiofibular joint arthritis in a patient with juvenile idiopathic arthritis: A case report.	Mod Rheumatol (): 1-4 2015 Sep

小計 4

113	Lei Qi, Hidemi Toyoda, Dong-Qing Xu, Ye Zhou, Naoto Sakurai, Keishirou Amano, Kentaro Kihira, Hiroki Hori, Eiichi Azuma, Yoshihiro Komada	Department of Pediatrics and Developmental Science, Mie University Graduate School of Medicine, 2-174 Edobashi, Tsu, Mie 514-8507 Japan ; Department of Pediatrics, Xin Hua Hospital Affiliated to Shanghai Jiao Tong University School of Medicine, 1665 Kong Jiang Road, Shanghai, 200092 China.	PDK1-mTOR signaling pathway inhibitors reduce cell proliferation in MK2206 resistant neuroblastoma cells.	Cancer Cell Int. 15(): 91 2015 Sep
114	Masayuki Satoh, Toru Yuba, Ken-Ichi Tabei, Yukari Okubo, Hirotaka Kida, Hajime Sakuma, Hidekazu Tomimoto	Department of Dementia Prevention and Therapeutics, Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Music Therapy Using Singing Training Improves Psychomotor Speed in Patients with Alzheimer's Disease: A Neuropsychological and fMRI Study.	Dement Geriatr Cogn Dis Extra 5(3): 296-308 2015 Sep-Dec
115	Yuka Nagano, Yasuhiro Inoue, Tadanobu Shimura, Hiroyuki Fujikawa, Yoshinaga Okugawa, Junichiro Hiro, Yuji Toiyama, Koji Tanaka, Yasuhiko Mohri, Masato	Division of Reparative Medicine, Department of Gastrointestinal and Pediatric Surgery, Institute of Life Sciences, Mie University Graduate School of Medicine, Tsu, Japan.	Exacerbation of Dermatomyositis with Recurrence of Rectal Cancer: A Case Report.	Case Rep Oncol 8(3): 482-6 2015 Sep-Dec

小計 3

計 115

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- (注) 2 報告の対象とするものは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実体上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- (注) 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- (注) 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2) 高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

(注) 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

(注) 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 目的, 定義, 設置者の責務, 委員会等の役割・責務, 委員会等の構成及び会議の成立要件等, 迅速審査	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 ・ 臨床研究に係わる利益相反行為に関するマネジメントの方針及び方法の原案の作成 ・ 臨床研究に係わる利益相反行為への改善措置に関する勧告又は指示の原案の作成 ・ 臨床研究に係わる利益相反行為に関するマネジメントのための調査の実施及びその結果の分析 ・ 情報公開のための原案の作成	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 5 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容 臨床研究倫理指針及び治験に関する合同研修会, 人を対象とする医学研究に関する倫理指針講習会	

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

MMC総合内科後期研修プログラム, 血液・腫瘍内科専門医取得コース, 消化器専門医養成プログラム, 先端内視鏡・低侵襲インターベンション専門消化器医養成プログラム, 糖尿病専門医取得コース, 内分泌・代謝専門医取得コース, 肥満症専門医取得コース, 病態栄養専門医取得コース, 神経内科後期研修プログラム, 外科専門医取得コース, 消化器外科専門医コース, 内視鏡外科専門医コース, 肝胆膵外科専門医コース, 移植外科専門医コース, 乳腺専門医取得コース, がんプロフェッショナル養成プラン乳腺外科専門医養成コース, 炎症性腸疾患外科治療教育コース, 腫瘍外科医を目指した大腸がん集学的治療コース, 消化器腹腔鏡外科治療教育コース, 小児外科治療教育コース, 三重大学胸部心臓血管外科advancedcourse, 三重大学胸部心臓血管外科専門医コース, 三重大学呼吸器外科専門医コース, 整形外科後期研修プログラム, 産婦人科後期研修プログラム, 小児科後期研修プログラム, 脳神経外科後期研修プログラム, 皮膚科後期研修プログラム, 腎泌尿器外科後期研修プログラム, 眼科専門医取得コース, 耳鼻咽喉・頭頸部外科後期研修プログラム, 精神科専門医取得コース, 三重大学家庭医療学プログラム, 放射線科専門医取得コース, 麻酔専門医取得コース, 麻酔認定医コース, 病理部後期研修プログラム, 救命救急センター後期研修プログラム

2 研修の実績

研修医の人数	293人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
藤本 源	呼吸器内科	助教	18年	
山本 憲彦	消化器・肝臓内科	講師	22年	
山田 典一	循環器内科	准教授	27年	
石川 英二	腎臓内科	講師	21年	
谷口 彰	神経内科	講師	27年	H7.9.1～H9.3.31休職
榊屋 正浩	血液・腫瘍内科	准教授	30年	
鈴木 俊成	糖尿病・内分泌内科	助教	11年	
新保 秀人	心臓血管・呼吸器外科	教授	37年	
毛利 靖彦	消化管・小児外科	准教授	26年	
花村 典子	乳腺外科	講師	24年	
平山 雅浩	小児科	教授	30年	
谷井 久志	精神科	准教授	24年	
長谷川 正裕	整形外科	講師	26年	
當麻 直樹	脳神経外科	講師	22年	H23.7.1～H25.6.30休職
山中 恵一	皮膚科	准教授	23年	H15.5.16～H17.6.30休職
杉村 芳樹	泌尿器科	教授	38年	
有馬 公伸	泌尿器科	准教授	36年	
田畑 務	産婦人科	准教授	30年	
近藤 峰生	眼科	教授	25年	H11.1.25～H13.1.25休職
竹内 万彦	耳鼻咽喉科	教授	32年	
佐久間 肇	放射線科	教授	31年	H5.11.1～H8.3.31休職
宮部 雅幸	麻酔科	教授	37年	
武田 多一	救急科	准教授	30年	

乾 真登可	歯科口腔外科	准教授	37年
伊佐地 秀司	肝胆膵外科	教授	37年
吉田 利通	病理部	教授	37年
竹村 洋典	総合診療科	教授	28年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 <u>2. 現状</u>
管理責任者氏名	病院長 伊藤 正明
管理担当者氏名	中央放射線部長 佐久間 肇 薬剤部長 奥田 真弘 医療安全・感染管理部長 兼児敏浩 医療福祉支援センター長 内田恵一 医学・病院管理部総務課長 山崎晴夫 医学・病院管理部医事課長 伊藤敦士

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	各診療科
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	各診療科
		手術記録	各診療科
		看護記録	各診療科
		検査所見記録	各診療科
		エックス線写真	各診療科
		紹介状	各診療科
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課
		高度の医療の研修の実績	総務課
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課, 薬剤部
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課, 医療安全・感染管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	総務課, 医事課, 医療安全・感染管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	総務課, 医事課, 医療安全・感染管理部
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医事課, 医療安全・感染管理部	

診療に関する諸記録は全科電子カルテを導入。(患者の署名のある同意書及び医師等が手書きした記録は、スキャンしている。)なお、診療録の病院外への持ち出しは、本院が定める取扱いにおいて禁止している。

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染対策のための指針の策定状況	総務課, 医療安全・感染管理部
	規則第一条の十一	院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課, 医療安全・感染管理部
	規則第一条の十一	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課, 医療安全・感染管理部
	規則第二条	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課, 医療安全・感染管理部
	規則第一号	医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課
	規則第三号	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課, 薬剤部
	規則第三号	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
	規則第三号	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
	規則第三号	医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課
	規則第三号	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課, 臨床工学部
	規則第三号	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課, 臨床工学部
規則第三号	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課，医療安全・感染管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課，医療安全・感染管理部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課
		医療安全管理部門の設置状況	総務課，医療安全・感染管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課，医療安全・感染管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課，薬剤部
		監査委員会の設置状況	[経過措置適用]
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	各診療科，医療安全・感染管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	[経過措置適用]
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課，医療安全・感染管理部医療福祉支援センター
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医事課，医療安全・感染管理部
職員研修の実施状況	総務課		
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	[経過措置適用]		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 伊藤正明	
閲覧担当者氏名	医学・病院管理部総務課長 山崎晴夫	
閲覧の求めに応じる場所	医学・病院管理部総務課総務係	
閲覧の手続の概要		
①規程に定められた閲覧申込書を、原則として閲覧を希望する2週間前までに病院長に提出する。 ②病院長は、前記の申込みを適当と認めるときは、閲覧承認書を交付する。 ③閲覧に際しては、閲覧担当者が立ち会った上で行う。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：・ 安全管理のための委員会、その他医療機関内の組織に関する基本事項・ 安全管理のための職員研修に関する基本方針・ 医療機関内における事故報告書等の医療に係る安全確保のための改善策に関する基本方針・ 医療事故等発生への対応に関する基本方針・ 患者からの相談への対応に関する基本方針・ その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 設置の有無 ((有)・無)・ 開催状況：年107回・ 活動の主な内容： <p>○医療問題対策委員会 (年12回) 医療法制に関する事項、医療事故の予防に関する事項、医療事故発生時の対策に関する事項、医療紛争の処理に関する事項及び医療訴訟に関する事項</p> <p>○医療安全会議 (年77回) インシデントレポートの収集と管理、報告された事故の原因や状況の分析、原因分析の結果を踏まえて事故発生の防止策と事故発生後の対応策を講じ、必要な情報を現場のスタッフにフィードバックする。 また、医療事故防止に係る病院内の巡視・点検・評価に関すること、医療事故防止対策マニュアルに関すること、ヒヤリハットニュースの発行に関すること、リスクマネージャー会議に関すること。</p> <p>○リスクマネージャー会議 (年6回) 医療問題対策委員会及び医療安全会議において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底させる。</p> <p>○医療の質・倫理検討委員会 (年12回) 死亡事例及び重症合併症例の検討、先端医療、終末期医療、移植医療、その他の倫理的問題について審議する。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：・ 第 1 回 講演題目「手術室・侵襲的行為の患者安全」・ 第 2 回 講演題目「医薬品の安全使用について」 「医療安全について」 「感染対策について」 「医療機器 (AEDの使い方) について」・ 第 3 回 講演題目「肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症の予防対策について」 「ラテックス・フルーツ症候群について」 「医療事故調査制度について」	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備 ((有)・無)・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>・ ヒヤリハットニュースを発行 (月 1 回及び必要に応じて随時) し、リスクマネージャー会議を開催することにより、リスクマネージャーを通じて、インシデントレポートから積極的に収集した情報並びに医療問題対策委員会及び医療安全会議において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。</p>	

- ・各医療現場のリスクマネージャーにより、医療事故の原因及び防止方法並びに医療体制の改善方法について独自に検討及び提言を行う。
- ・各医療現場のリスクマネージャーにより、独自に事故防止のための研修会及び勉強会を開き、医療事故防止のための啓蒙活動を行う。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">院内感染対策に関する基本的な考え方職員研修に関する基本方針感染発生対応に関する基本方針その他の必要な基本方針委員会等の組織に関する基本的事項感染発生状況の報告に関する基本方針指針の閲覧に関する基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">院内感染の実態の把握，薬剤耐性の動向その他院内感染対策のための調査・研究を行う。感染症患者及び健康保菌者等の取扱い，滅菌及び消毒，清潔区域及び医療材料の清潔保持その他院内感染防止のための予防対策を行う。院内感染防止についての指針の作成及び職員の教育・指導を行う。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">第 1 回 講演題目「医薬品の安全使用について」<ul style="list-style-type: none">「医療安全について」「感染対策について」「医療機器（AEDの使い方）について」第 2 回 講演題目「大阪医療センターにおけるCREアウトブレイクへの対応」第 3 回 講演題目「感染制御に関する新しい考え方」	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">病院職員における結核発病事例を受け，全職員を対象にベースラインの I G R A 検査を実施中。C R E 等の多剤耐性菌の集積が見られた部署に対して I C T として介入し，感染対策の強化（接触予防策の徹底・環境清掃当）を行い，水平伝播を阻止することが出来た。	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容： ・ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書について ・ 麻薬の取扱いについて ・ 医薬品の安全使用について	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有)・無) ・ 業務の主な内容： 1. 医薬品の採用・購入に関する事項 2. 医薬品の管理に関する事項 (麻薬等の管理方法等) 3. 患者の持参薬歴条方の収集方法, 処方箋の記載方法 4. 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項 6. 他施設 (病院等, 薬局等) との関係に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 【収集方法】 医薬品に係る添付文書等の収集, メーカー等からの収集, インターネット, 文献等からの収集 【周知方法等】 薬剤部発行の院内医薬品情報誌への掲載, オンライン医薬品集の「お知らせ」への掲載, 薬剤部ホームページへの掲載, 必要に応じて院内メール又は文書等による通知, 病棟担当薬剤師によるカンファレンス等での説明, 職員用エレベータホール等への掲示板の設置 【改善方法等】 業務実施状況を確認し, 必要に応じて手順書の改訂を行う。 院内で発生した副作用を収集する体制の整備	

(様式第6)

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	①・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年45回
・ 研修の主な内容： 医療器機の有効性・安全性、使用方法、保守点検、不具合が生じた場合の対応、使用に関して特に法令上遵守すべき事項	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (①・無) ・ 保守点検の主な内容： 臨床工学技士による点検とメーカー委託による点検の実施	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (①・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 【収集方法】 医療機器に係る添付文書等の収集、PMDAメディナビへの登録、医薬品医療機器総合機構への登録により随時配信される医療機器情報の確認、メーカー等からの不具合情報の収集、他大学との連携による医療機器の不具合情報の共有 【周知方法等】 装置毎に添付文書・保守点検マニュアル及び安全性情報を冊子として配付、病院ホームページ及びME室ホームページからの医薬品医療機器総合機構へのリンク、電子カルテの端末からのマニュアル等の閲覧システム、看護師と連携した医療中央管理委員会（年4回開催）における周知、リスクマネージャー会議への情報提供 【改善方法等】 医療機器管理ソフト（院内で管理している医療機器を登録）と機器に取付けたICタグ方式による機器の位置管理システムを導入。このシステムにより医療機器の所在、使用状況、メンテナンス状況がリアルタイムで把握できるようになった。さらに院内の患者カルテ端末より医療機器の運用状況も閲覧できるようになった。	

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	① 有・無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理責任者が、医療安全・感染管理部長及び医療安全管理委員会の委員長を担っており、これらを統括している。また、医療安全管理委員会には、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が構成員となっており、各責任者を統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	② 有(4名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品に係る添付文書等やメーカー、インターネット、文献等から情報を収集し、整理を行った上で、薬剤部発行の院内医薬品情報誌やオンライン医薬品集、薬剤部ホームページへの掲載、必要に応じて院内メールや文書等による通知、病棟担当薬剤師によるカンファレンス等での説明、その他掲示等により周知を行っている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>医薬品に係る添付文書等を収集している。また、医療の質・倫理検討委員会で承認された適応外使用について、データベースを作成し薬剤部員で情報共有している。</p> <p>・担当者の指名の有無 (有) 無</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	④ 有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有) 無</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p>責任者の指定、責任者が講ずるべき措置、リスクマネジメントマニュアルの遵守</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	⑤ 有・無
<p>・活動の主な内容：</p> <p>診療記録の記載内容の確認などによる診療記録の適切な管理</p>	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（４）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>うち医師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（１）名</p> <p>うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療の質・倫理検討委員会及び医療安全管理委員会に係る事務に関すること。 (2) 「ヒヤリ・ハット報告書」の収集・調査・防止対策及び防止対策の周知徹底に関すること。 (3) 医療事故防止・安全管理に係わる病院内の巡視・点検・評価に関すること。 (4) 医療事故防止・安全管理に係わる業務改善の提言・指導に関すること。 (5) 医療安全に係わる教育・研修・啓発に関すること。 (6) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。 (7) 医療安全会議及びリスクマネージャー会議に関すること。 (8) 内部通報窓口（医療安全ポスト）に関すること。 (9) 医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること。 (10) 職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関すること。 (11) インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること。 (12) 高難度新規医療技術を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。 (13) 死亡事例及び重症合併症事例に関すること。 (14) その他医療の安全管理に関すること。 <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p style="color: red;">[経過措置適用]</p> <p>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）</p>	
⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	
<p>・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療</p>	

技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）

・規程の主な内容：

[経過措置適用]

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 監査委員会の設置状況 [経過措置適用]

有・無

・監査委員会の開催状況：年一回

・活動の主な内容：

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）

・委員名簿の公表の有無（有・無）

・委員の選定理由の公表の有無（有・無）

・公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 59 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の実態及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 6 件
- ・医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - (1) 医事法制に関する事項
 - (2) 医療事故の予防に関する事項
 - (3) 医療事故発生時の対策に関する事項
 - (4) 医事紛争の処理に関する事項
 - (5) 医療訴訟に関する事項
 - (6) 死亡事例及び重症合併症事例に関する事項
 - (7) 内部通報窓口（医療安全ポスト）への投書に関する事項
 - (8) その他必要と認めた事項

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況 [経過措置適用]

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ））・無
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ））・無
- ・技術的助言の実施状況

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

患者からの相談に応じる部門として、医療福祉支援センターを設置している。内容が医療安全に係る疑いがある場合は、情報を医療安全管理部門に提供する。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有・無）
- ・窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）

⑭ 職員研修の実施状況 [経過措置適用]

・研修の実施状況

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況 [経過措置適用]

・研修の実施状況

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・ 評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の認定を受けている。 (2005年7月認定, 2010年更新, 2015年更新)	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・ 情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページでの情報発信のほか、医学系研究科・附属病院概要など各種広報誌の発行や公開講座の実施など、広く情報発信を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 がんセンター等で診療科間及び職種の枠を越えた連携によるチーム医療、修学的治療を推進している。また、平成27年5月にチーム医療推進センターを設置し、チーム医療の推進に向けた体制を強化している。	

(様式第8)

三大医病総第882号
平成28年10月4日

厚生労働大臣 塩崎恭久 殿

国立大学法人三重大学
学長 駒田美弘

三重大学医学部附属病院の昨年度の業務報告において提出した年次計画の経過について

標記について、医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の20第6号口及び第7号口の規定に基づき、次のとおり提出します。

記

1 提出した年次計画の項目

1 紹介率・逆紹介率 ② 標榜する診療科 3 専門の医師の配置 4 論文発表

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○を付けること。

2 昨年度および今年度の実績

昨年度提出した年次計画書での報告事項 (実績及び予定措置)	今年度の実績及び承認要件を満たしていない場合の理由
標榜が求められている診療科として、現在当院では泌尿器科及び放射線科が未届出である。両診療科とも、平成27年5月6日まで標榜していたが、新外来棟開院に伴い、各々腎臓泌尿器科及び放射線診断科、放射線治療科へ標榜科名の変更を行ったところであった。診療実態としては変わらないため、速やかに要件に必要な標榜科名（泌尿器科及び放射線科）への変更を再度行う予定である。	平成27年12月9日付にて、泌尿器科及び放射線科を標榜科とする届出を行った。

(注) 1 左欄には、昨年度の業務報告において様式第8として報告した事項を記載すること。

2 右欄には、今年度の実績及び、承認要件を満たしていない場合はその理由を記載すること。

3 今後の具体的措置

--

(注) 本年度も承認要件を満たしていない場合、2で記載した事項以外の更なる措置を記載すること。

(様式第8)

三大医病総第 号
平成28年 9月 日

厚生労働大臣 塩 崎 恭 久 殿

開設者名
三重大学長 駒 田 美 弘

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

三重大学医学部附属病院における医療に関する安全管理規程（以下「安全管理規程」という。）を改正し、平成28年4月より配置している副病院長（医療安全担当）を医療安全管理責任者に充てることとした。

【参考：三重大学医学部附属病院における医療に関する安全管理規程】

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

安全管理規程、三重大学医学部附属病院薬剤部規程（以下「薬剤部規程」という。）を改正し、医薬品安全管理責任者（薬剤部長）の業務内容を明確にした。

【参考：三重大学医学部附属病院における医療に関する安全管理規程、三重大学医学部附属病院薬剤部規程】

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

安全管理規程を改正し、医療を受ける者に対する説明に関する責任者を置くことを明確化するとともに、三重大学医学部附属病院におけるインフォームド・コンセントの実施に関する規程（以下「インフォームド・コンセント規程」という。）を新たに制定して、副病院長（医療安全担当）を当該責任者に充てることとした。

【参考：三重大学医学部附属病院における医療に関する安全管理規程、三重大学医学部附属病院におけるインフォームド・コンセントの実施に関する規程】

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

新たにインフォームド・コンセント規程を制定し、インフォームド・コンセントの実施に関する総則を定めた。また、リスクマネジメントマニュアルのインフォームド・コンセントに関する内容を整理し、実施の際の立会者や標準的な説明内容などを明確にする。

【参考：三重大学医学部附属病院におけるインフォームド・コンセントの実施に関する規程、リスクマネジメントマニュアル（抜粋）】

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

安全管理規程を改正し、診療録の管理に関する責任者を置くことを明確化するとともに、三重大学医学部附属病院診療記録管理要項を改正し、副病院長（医療安全担当）を当該責任者に充てることとした。

【参考：三重大学医学部附属病院における医療に関する安全管理規程、三重大学医学部附属病院診療記録管理要項】

6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

当該措置については以前より実施されていたが、三重大学医学部附属病院医療安全・感染管理部規程（以下「医療安全・感染管理部規程」という。）及び三重大学医学部附属病院医療安全管理委員会内規（旧・医療問題対策委員会内規）を改正し、当該措置に係る業務の所掌をより明確にした。

【参考：三重大学医学部附属病院医療安全・感染管理部規程、三重大学医学部附属病院医療安全管理委員会内規】

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

安全管理規程に基づき内部通報窓口を設置し、設置・運用に関する定め（要項等）について整備するとともに、所属職員に周知を行い、運用を開始した。

【参考：三重大学医学部附属病院における医療に関する安全管理規程、三重大学医学部附属病院における医療安全管理に係る情報提供受付窓口に関する要項】

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業員の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

診療の状況の把握については、診療記録監査の一環として、術前カンファレンス・デスカンファレンスの実施状況等について、監査を行い、毎月の科長会等で、その結果を周知し、実施率の低い診療科には改善を求めている。また、臨床指標として、予定外の再手術、再入院、周術期の肺塞栓発生率等のモニタリングを定期的に行うこととした。

従業員の意識の確認については上記カンファレンスへの参加状況、インフォームド・コンセントの実施状況等について確認するとともに、インシデントレポートの提出状況、病棟ラウンド等でも把握していく予定である。また、以前から実施している周術期におけるWHO手術安全のチェックリストの遵守状況のモニタリングも再開する予定である。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

三重大学医学部附属病院医療の質・倫理検討委員会規程（以下「医療の質・倫理検討委員会規程」という。）及び医療安全・感染管理部規程を改正し、高難度新規医療技術の提供の適否等について審議する機関を医療の質・倫理検討委員会とし、それに係る業務を所掌する部門を医療安全・感染管理部とすることを明確にした。

【参考：三重大学医学部附属病院医療の質・倫理検討委員会規程、三重大学医学部附属病院医療安全・感染管理部規程】

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業員が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

「医療法施行規則第9条の23第1項第7号口の規定に基づき高難度新規医療技術について厚生労働大臣が定める基準（平成28年6月10日厚生労働省告示第246号）」等に基づき、規程案を作成中である。

（平成29年3月31日までに作成予定）

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

医療の質・倫理検討委員会規程及び薬剤部を改正し、未承認新規医薬品等の使用の適否等について審議する機関を医療の質・倫理検討委員会とし、それに係る業務を所掌する部門を薬剤部とすることを明確にした。

【参考：三重大学医学部附属病院医療の質・倫理検討委員会規程、三重大学医学部附属病院薬剤部規程】

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

「医療法施行規則第9条の23第1項第8号口の規定に基づき未承認新規医薬品等を用いた医療について厚生労働大臣が定める基準（平成28年6月10日厚生労働省告示第247号）」に基づき、規程案を作成中である。

（平成29年3月31日までに作成予定）

13. 監査委員会を設置するための予定措置

委員会設置に向け、委員の構成、人選について検討を行っている。

また、三重大学医学部附属病院監査委員会規程（仮称）等を整備し、委員会の組織や所掌業務等を明確にする。

（平成29年3月31日までに設置予定）

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

国立大学附属病院医療安全管理協議会での協議内容を踏まえ、近隣の特定機能病院と相互の立入り及び技術的助言を遂行する予定である。

15. 職員研修を実施するための予定措置

すでに実施している、医療安全、感染対策、医薬品・医療機器の適正使用、医療倫理、臨床研究等の各種研修に加え、インフォームド・コンセントの適正な実施や診療記録等の適正な記載、相互ピアレビューを受けた技術的助言に関する事項、監査委員会からの意見に関する事項、その他特定機能病院として高度な医療を提供していくために必要な事項についても、適宜研修を計画していく。

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

医療安全研修、感染対策研修は、管理者（病院長）をはじめとする管理職員も受講必須としているが、今後は管理職員向けに内容を見直した研修会についても計画する。

（平成30年3月31日までに実施予定）

17. 医療安全管理部門の人員体制

- ・ 所属職員：専従（４）名、専任（ ）名、兼任（１）名
- うち医師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（ ）名
- うち薬剤師：専従（１）名、専任（ ）名、兼任（１）名
- うち看護師：専従（２）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

を配置済み

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

上記 17 のとおり、専従職員を配置済み